

令和4年度

# 事業報告書

社会福祉法人 都島友の会

〒 534-0021 大阪市都島区都島本通 3-4-3

事業報告の内容を補足する重要事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

## 令和4年度事業報告書(目次)

I	令和4年度本部事業報告	1
II	事業の内訳	9
III	事業別報告	
	1. 第一種社会福祉事業	
	(1)老人福祉施設 《特別養護老人ホームひまわりの郷》	10
	2. 第二種社会福祉事業	
	(1)放課後児童健全育成事業《都島児童館》	12
	(2)認定こども園・保育所	14
	(3)児童厚生施設・子育て支援事業	24
	(4)児童発達支援センター	27
	《こども発達サポートステーションそれいゆ》	
	(5)児童発達支援・放課後等デイサービス	29
	(6)老人福祉施設 《友渕地域在宅ステーションひまわり》	30
	(デイサービス・在宅介護支援サービス)	
	(7)老人福祉施設 《特別養護老人ホームひまわりの郷》	32
	(短期入所生活介護・社会貢献事業・訪問介護ひーぐるま)	
	3. 公益事業	
	(1)居宅介護支援事業	34
	(2)比嘉正子地域貢献事業研修センター	35
	(3)保育士等キャリアアップ研修事業	36
	4. 収益事業	
	(1)賃貸アパート(あやなす荘)	37
	(2)賃貸ビル(福祉ビル)	37
	5. 研修報告	
	人権研修、役員研修、外部研修、法人内研修、アウトリーチ型研修、 保育士等キャリアアップ研修	38



## I 令和4年度本部事業報告

### ○適正な法人運営

定款及び諸規程を遵守し、理事会・評議員会のもと適正な業務執行に努めるとともに、安定的な財務基盤の確立、透明性の高い財務管理など本部業務を推進した。

### ○新型コロナウイルス感染症対策

コロナ禍も3年目となった令和4年は、年明け早々から第6波が押寄せ、市中感染や家族感染が急拡大した。6月になるとやや落ち着きを見せたが、7月から第7波、11月からは8波と、新規患者の増減を繰り返した。このような中、法人の児童・高齢各施設は、保護者・利用者家族のご協力をいただきながら、安全安心の施設運営を行った。

児童施設の発表会は、3年ぶりに会場で保護者にご覧いただくことができ、我が子の成長した姿に感動されていた。令和5年春の卒園式は、全卒園児と保護者の参加による厳かで微笑ましい式となり、素晴らしい門出となった。

令和5年度の保育教育・諸行事は、安全に配慮しながら、徐々にコロナ禍前に戻していく。また家族との面会や、地域の皆さんの憩い・交流の場として設置している特別養護老人ホームひまわりの郷の「ひまわりカフェ」も、令和5年春から利用を再開した。

### ○施設整備

#### (1) 都島児童館新建物完成

放課後児童健全育成事業(学童)の再編にあたり、令和4年9月、拠点施設となる都島児童館新築工事に着手、令和5年2月に竣工。鉄骨造3階建て延床面積は214.40㎡。令和5年度に中野生活クラブが新建物内に移転。

#### (2) あやなす荘解体撤去・福祉ビル外壁改修

三井ホーム株式会社と締結していたあやなす荘解体工事契約は、同社が工事の履行を拒絶する意思を明確に表示したと判断し、令和4年8月19日付で解除した。このため、あやなす解体撤去工事と併せ同建物の北側の第二乳児保育センターが入る福祉ビル南面の外壁改修工事について、3社から見積書を提出させ、新たな請負業者を選定した。令和4年9月から本格的に工事に着手し、令和5年2月末に完了した。

### (3) 空調設備の更新

経年劣化したデイサービスひまわりのガスヒーポンによる空調設備を、一般財団法人環境共創イニシアチブから「先進的省エネルギー投資促進事業補助金」の交付を受け、令和4年11月に更新。

都島友渕乳児保育センターでは、令和3年度の3階保育室の機器更新に引続き、令和4年12月、2階の厨房・保育室のガスヒーポンによる空調設備を更新、空調能力を向上させた。

### ○法人創立 90 周年感謝のつどい

創立 90 周年のお祝いと渡久地理事長の瑞宝双光章の受章のお祝いを兼ね、令和4年7月30日、帝国ホテル大阪で「お祝いと感謝のつどい」を開催した。

永年にわたりお世話になっている皆様約 150 名がご出席。式典とともに DVD で法人施設と各園園児の演舞を紹介。また職員有志により沖縄のエイサー・ダンスを披露した。

### ○デイサービスひまわりの経営改善

令和3年度から、職員配置の見直しなど経営改善に取り組んでいる。令和4年度は、前年度後半からの利用者の推移をもとに、1日の利用者 20.1 名(定員 25 名)を目標とした。地域へのアプローチを進め利用者確保に努めたが、夏以降、コロナによる利用控え、また利用者の施設入所・長期入院・死亡等により、利用中止が相次ぎ(29 名)、新規契約者は前年と同様(23 名)であったが、結果的に、1日の利用者が 17.3 名と予算に比し 3 名の減となった。

改めて現状を見直し、新規利用者の獲得、収入確保の取組を進めるとともに、利用者定員 20 名とし、スリム化した人員配置で経営することとする。

### ○人材確保と処遇改善

スマートフォンで採用情報へのアクセスできるようホームページを更新、保育士介護士養成校への訪問、就職フェアへの参加、施設見学者への説明に努めた結果、保育職員 11 名、介護職員 3 名を採用した。

人材確保と離職防止のための保育士宿舍借上げ事業は令和4年度 22 名が利用。令和4年2月～9月に保育士等処遇改善臨時特例事業及介護職員処遇改善支援事業等により賃金改善を実施、引続き 10 月からは処遇改善手当Ⅲ及びベースアップ手当として支給している。

令和5年4月に児童施設の初任給引上げとともに、給与表を改定した。

### ○介護職員初任者研修

介護職員の自前養成として、令和4年10月3日～12月21日に、介護職員初任者研修を開講した。6名が修了し、内1名が正規職員としてひまわりの郷に採用。5名は、非常勤職員として勤務している。

### ○保育士等キャリアアップ研修事業

比嘉正子地域貢献事業研修センターで乳児教育・幼児教育など7分野5単元35講義の保育士等キャリアアップ研修を実施した。受講者は162名、修了者は154名。

### ○評議員会

令和4年6月17日 11月24日 令和5年3月31日

議案内容は別紙のとおり

### ○評議員選任・解任委員会

山本才司評議員のご逝去に伴い、令和5年1月17日に委員会を開催し、理事会から推薦のあった古山勝彦氏を選任した。任期は、残任期間の令和5年6月の定時評議員会まで。

### ○理事会

令和4年6月2日 7月30日 8月19日 9月16日 11月11日

令和5年1月12日 3月23日

議案は別紙のとおり

### ○経営会議 施設長会

毎月定例開催の予定であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度は、随時、案件ごとの関係者による会議となった。

### ○園長会 副園長会 主任会

随時開催

### ○法人部会

法人内部会

採用検討委員会 看護師連絡会 リスクマネジメント委員会 他

法人外部会

私立保育園連盟の各部会 府知的障害児者施設連絡協議会

市老人福祉施設連盟 区社会福祉施設連絡会  
府社協保育部会 他

※新型コロナウイルス感染症のため、法人外部会の開催は中止

## ○監 査

法人監事監査(西平監事・松野監事) 令和4年5月26日  
社会福祉施設(幼保連携型認定こども園 保育園)に係る指導監査  
(こども青少年局) 令和4年12月20日～22日  
大阪府福祉部による書類確認及びヒアリング 令和4年8月10日

## ○苦情解決第三者委員会

大阪 令和4年10月26日  
沖縄 沖縄委員に郵送により報告

## ○人 事

経験、適正に応じた法人内異動の実施  
令和5年4月1日付辞令交付 昇格・異動・新規採用 計19名  
令和4年4月1日付新規採用者 計14名  
(保育教諭8名 保育士3名 介護職員3名)  
経験、技能に応じ、児童施設に副主任・リーダーの配置と処遇

## ○研 修

保育士等キャリアアップ研修(比嘉正子地域貢献事業研修センター)  
各施設における研修  
大阪府社会福祉協議会などが実施する外部研修へ参加  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止またはオンライン等による研修  
詳細は38頁以降に掲載

## ○表 彰

大阪市社会福祉施設従事者 市長表彰5名 感謝状1名  
大阪府社会福祉協議会 永年勤続表彰1名  
全国社会福祉協議会 永年勤続表彰5名  
日本保育協会 永年勤続表彰7名  
日本保育協会保育実践研究  
奨励賞 幼保連携型認定こども園成育児童センター



## ○福利厚生

比周会主催懇親会

令和4年11月24日（創立90周年のつどい参加者除く会員を対象）  
各施設の厚生会活動に対し福利厚生費として補助  
クラブ活動への助成（バレーボール フットサル 太鼓）中止

## ○財 務

新会計基準のもと、適正な財務管理に努めている  
法人の財務状況について法人ホームページで公表  
監事監査報告書 財務情報 事業報告書 現況報告書

## ○広報活動

- ・広報誌ゆんたく  
令和4年7月発行(35号)4,500部 令和5年3月発行(36号)4,500部  
保護者 利用者家族 地域 社会福祉関係他に配布
- ・法人及び各施設ホームページを随時更新
- ・幼保連携型認定こども園・保育園から毎月「園だより」を配布
- ・施設行事の地域への周知、参加呼びかけ
- ・各施設週報告(施設長から理事長 事務局長 全施設長)

## 令和4年度理事会開催状況

開催年月日	議 案 内 容
出席状況	
4. 3. 23	①令和3年度補正予算(案)について
理事 8	②令和4年度事業計画(案)について
監事 2	③令和4年度収支予算(案)について
	④役員賠償責任保険契約の内容について
	⑤大阪府社会福祉協議会「介護福祉士修学資金等貸付」に対する法人保証について
	⑥規則・規程の一部改正について
	⑦創立90周年寄附のお願いについて
	⑧施設長の選任について
	⑨評議員会の招集について
	業務執行報告
4. 6. 2	①令和3年度事業報告の承認について
理事 8	②令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認について
監事 1(欠1)	③定款変更について
	④経理規程の一部改正について
	⑤施設長の選任について
	⑥定時評議員会の招集について
4. 7. 30	①あやなす荘解体撤去その他工事請負業者の選定について
理事 7(欠1)	②都島児童館(ぼくらの家北都)新築工事請負業者の選定について
監事 1(欠1)	③デイサービスひまわりの空調設備更新及びその業者の選定について
	④規程の改正について
4. 8. 19	①三井ホーム株式会社と締結した工事請負契約(件名 あやなす荘解体・取回し仮屋根設置工事)の解除について
理事 6(欠2)	②あやなす荘解体撤去その他工事請負契約の締結について
監事 1(欠1)	③福祉ビル外壁改修工事請負契約の締結について
	④都島児童館(ぼくらの家北都)新築工事請負契約の締結について
4. 9. 16	①三井ホーム株式会社との工事請負契約(件名 あやなす荘解体・取回し仮屋根設置工事)の解除後の経過について
理事 7(欠1)	②あやなすの郷新築工事に関する基本協定書及びあやなすの郷新築工事設計業務委託契約の解除と解除後の処理について
監事 1(欠1)	③デイサービスひまわりの空調設備設置工事請負契約の締結について
4. 11. 11	①三井ホーム株式会社から提出された請負代金請求に係る訴状に対する対応について
理事 7(欠1)	②訴訟代理人の選任について
監事 1(欠1)	③役員等報酬規程の一部改正について
	④規則の一部改正について
	⑤評議員会の招集について
5. 1. 12	①評議員選任候補者の推薦について
理事 8	②評議員選任・解任委員会の開催について
監事 2	③幼保連携型認定こども園桜宮児童センター分園の廃止について
	④児童デイサービスせいいくの廃止について

5. 3. 23	①令和4年度補正予算(案)について
理事 8	②都島児童館友渚生活クラブの廃止について
監事 2	③令和5年度事業計画(案)について
	④令和5年度収支予算(案)について
	⑤役員賠償責任保険契約の内容について
	⑥臨時職員・パート就業規則(渡保育園 松島保育園)の一部改正について
	⑦評議員会の招集について
	業務執行報告

※定数

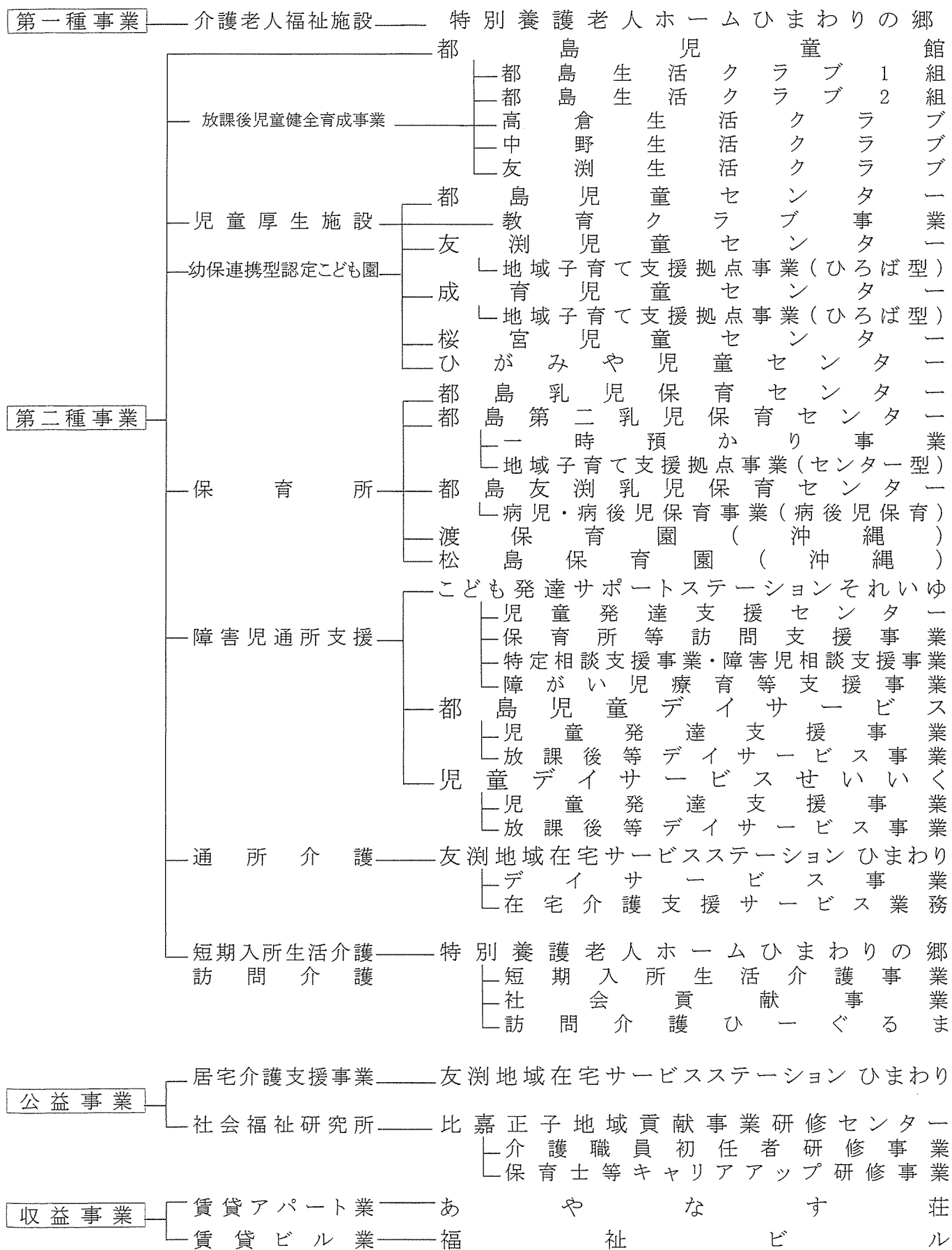
理事 8 監事 2

## 令和4年度評議員会開催状況

開催年月日 出席状況	議 案 内 容
4. 3. 31	①令和3年度補正予算(案)について
評議員8(欠1) 理事2	②令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 業務執行報告
4. 6. 17	①令和3年度計算書類及び財産目録の承認について
評議員8(欠1) 理事3	②令和3年度事業報告の報告について ③定款変更について 報告 施設長就任(こども発達サポートステーション・特養ひまわりの郷)
4. 11. 24	①役員等報酬規程の一部改正について
評議員7(欠2) 理事2	②理事に対する報酬総額の範囲内の改正について 報告 あやなす荘解体工事の現況及び都島児童館新築工事進捗状況
5. 3. 31	①令和4年度補正予算(案)について
評議員7(欠2) 理事2	②令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 業務執行報告

※定数  
評議員9

## II 事業の内訳



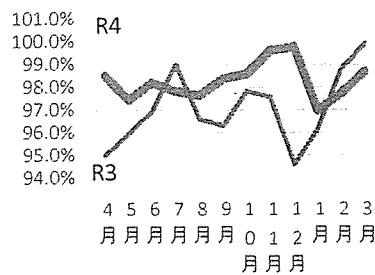
# 1. 第一種社会福祉事業

## (1) 特別養護老人ホーム ひまわりの郷

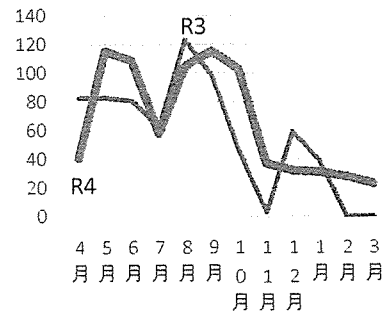
特養定員数	81名
短期入所定員数	9名
利用延数※	32,281名
施設稼働率※	98.27%
男性介護度	4.07
女性介護度	4.17
平均介護度	4.16
男性平均年齢	88.2歳
女性平均年齢	88.9歳
平均年齢	88.7歳
最高年齢	102歳
最若年齢	52歳
看取り介護中	1名
胃瘵	3名

※延数及び稼働率には短期入所を含む

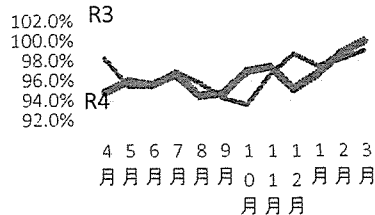
R4年度 月別施設稼働率



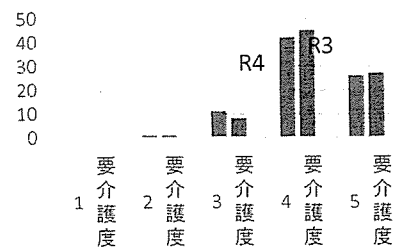
R4年度 入院日数



R4年度 月別入居稼働率



要介護度分布(2023.3)



### 職員数

常勤職員									非常勤職員			合計
施設長	生活相談員	機能訓練指導員	介護支援専門員	管理栄養士	看護師	介護職員	事務職員	計	常勤並	短時間	計	
1	1	(1)	1	1	3(1)	25	5	37	4	26	30	67

令和5年3月31日現在

### 固定資産取得価格一覧

摘要	金額
給水管改修工事	1,815,000
床走行式電動介護リフト	210,000
厨房冷凍冷蔵庫	533,500
デスクトップパソコン 2台	291,060
4件	2,849,560

### 主たる修繕

特殊浴槽水量センサー修理  
 排煙窓修理  
 個浴浴槽電動弁交換他  
 食器消毒保管庫修理  
 給湯ボイラー圧カスイッチ交換

## コメント（特養）

### (1) 取り組み

#### 令和3年度介護報酬改定

- ① 感染症や災害に関する業務継続計画（BCP）について、策定の見直しを行った。
- ② ハラスメント対策は、カスタマーハラスメントなどのハラスメント研修を実施した。（年1回）
- ③ 高齢者虐待防止のために、虐待防止担当者を定め、高齢者虐待防止委員会を開催した。（年12回）
- ④ 看取り介護については、看取り委員会を年12回開催し、看取り介護のマニュアルを見直しするとともに、研修を実施した。施設内で2名の方を看取ることとなった。
- ⑤ 科学的介護情報システムLIFEへのデータ提供については、3か月に一度のペースで入居者のデータ提供した。厚労省からのフィードバックはなかった。
- ⑥ 口腔衛生・栄養状態を計画的に管理することについては、看護師や管理栄養士が訪問歯科医師と連携し、状態に応じたケアを計画的に実施した。また、令和5年度より新たな口腔衛生管理加算を算定している。
- ⑦ 褥瘡や排せつ支援による要介護度の重度化防止の取組としては、褥瘡委員会を年12回開催し、褥瘡の状態に関する情報交換を行い、褥瘡の予防や改善につなげた。
- ⑧ テクノロジーの活用による介護の質の向上と業務の軽減については、各種の見守り機器（年延2万回超えの反応）によって、転倒を未然に予防している。また、移乗機器を使うことで、重度利用者の身体への負担軽減（かかえない介護取組）となるとともに、職員においては、本年度腰痛による欠勤はなかった。
- ⑨ リスクマネジメントの強化のため、安全管理担当者を決め、事故防止委員会を年12回開催し、ヒヤリハットの分析を毎月行った。

#### 令和4年度実績

- ① 新型コロナウイルス感染症に関して、発症日令和4年7月5日から令和5年1月1日から2度クラスターが発生し、合計57名の陽性者を出した。入所者が感染すると重症化になる恐れがあり、新型コロナウイルス感染予防の対応策について話し合いを行い、日々の入所者の健康観察をはじめ、職員には、3日に1度の抗原検査と2週間に1度のPCR検査を実施、感染症対応ベッドの確保などの特別対策実施、季節行事は代替行事へ、変更居室までの面会の受入れ中止、職員及び家族のコロナウイルス感染拡大地域への移動自粛などさまざまな対策を講じてきた。また、新型コロナウイルス感染症が市中感染者の増加に至っても、職員の感染だけで留まり、入所者の感染まで至らなかったこともあり、感染予防への意識低下があったのではと考えている。
- ② 令和4年度より入居定員80名→81名の変更を行った。稼働率を上げるため、集計会議を随時開催、入居候補者及び短期入所登録選定に力を注いだ。令和3年度と比較して、入居0.2%上昇、施設全体1.24%上昇につながった。
- ③ 初任者研修を開講する。令和3年度介護報酬改定で、3年間のうちに無資格職員には、介護関連の資格取得の義務が求められている。対象の職員の勤務に配慮して初任者研修を法人で開講した。6名が参加し、全員就業中である。また、外部からの受講を進めるために、TikTokやYouTubeを活用した。
- ④ ペーパーレス化を推奨していくため、メールやグーグルフォームの活用を開始。
- ⑤ 職員ユニホームのリニューアル。施設の宣伝広告・職員のモチベーション向上・イメージアップを図るために、20年ぶりにリニューアルを行った。

### (2) 課題

- ① 介護福祉士の常勤換算率を上げるため、実務者研修取得/介護福祉士受験対策支援が求められている
- ② 令和4年度に計画していたナースコール・モニターの設置は補助金がかかず、実施できなかった。本年度は修理等が困難になっているナースコールをリニューアルにつなげたい。
- ③ 令和3年度の介護保険報酬改正について、3年間の経過措置内容を着実に実施していく。
- ④ 令和6年度介護保険制度改定の見通し、科学的介護情報システムLIFEへ情報提供後のフィードバックの活用、PDCAサイクル（計画/実行/評価/改善）の構築が急がれる。
- ⑤ 新型コロナウイルスの感染予防を実施しながら、人々との交流をどのように実施していくかが課題である。入居者とご家族、地域住民との交流、施設間での職員交流など、カフェテリアひまわりも活用しながら、実施できる行事を模索し、人々のふれあいを広げていきたい。
- ⑥ 入居施設の増加に伴い、入居希望者から選ばれる施設づくりが必要である。ひまわりの郷の強みを精査し、地域に広報していきたい。
- ⑦ 建設後20年を経過し、建物、設備などの老朽化が顕著となってきた。照明設備のLED化など省エネを図る。また、光熱水費が高騰する見込みであり、その対策を加味したりリニューアル計画の策定が必要である。

## 2. 第二種社会福祉事業

### (1) 都島児童館

学年・学校別人数(令和4年4月1日登録児童数) - 都島生活クラブ1・2組

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
都島小学校	6	9	9	4	7	5	40
東都島小学校	12	11	4	7	1	1	36
合計	18	20	13	11	8	6	76

学年・学校別人数(令和4年4月1日登録児童数) - 高倉生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
友渕小学校	1	5	2	6	4	3	21
高倉小学校	5	7	5	11	1	3	32
合計	6	12	7	17	5	6	53

学年・学校別人数(令和4年4月1日登録児童数) - 中野生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
中野小学校	12	3	3	3	0	3	24
							0
							0
合計	12	3	3	3	0	3	24

学年・学校別人数(令和4年4月1日登録児童数) - 友渕生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
友渕小学校	5	6	9	8	7	5	40
							0
							0
合計	5	6	9	8	7	5	40

### 職員数

職員数		都島1・2	高倉	中野	友渕	計
常勤	館長	1				1
	支援員	2	2	1	1	6
	補助員					0
非常勤	支援員	2	2	1	3	8
	補助員	6	2	2		10
	その他					0
計		11	6	4	4	25

### 固定取得価格一覧

摘要	金額
ノートパソコン	121,440
冷蔵庫	132,730
エアコン 2台	694,100
空気清浄機	110,000
児童館新築工事	112,407,999
計	113,466,269

### 主たる修繕

各所修繕



コメント(都島児童館)

今年度は職員とのミーティングを定期的に行い、情報の共有をしながら1年を過ごすことができました。また新型コロナウイルス感染が3年目を迎え、児童館全体でも感染予防には意識が高く児童もよく理解できていた。しかし夏頃より、各施設数名の陽性者と濃厚接触者が増え始め、友渕生活クラブでは急増加した為、児童自身も自宅静養となり施設を休館し、一日早めのお盆休を取ることで広がりには落ち着いた。引き続き各施設マスク着用、施設の消毒、手洗い、換気等の感染対策を徹底した一年であった。

そのような中でも各施設ごとに子どもたちと職員が一緒になって、少しでも楽しい時間が過ごせるよう、夏祭りや、ハロウィンパーティーを子どもたち中心に工夫を凝らして行う。また、新施設の建設が9月より幼保連携型認定こども園都島児童センター南側で始まり、子どもたちも地鎮祭に参加し新施設が建っていくのを楽しみにしていた。そこに中野生活クラブが令和5年4月から移設することが決まり保護者説明会を行う。距離が長くなるが職員体制や安全にも配慮しながら4月を迎える。友渕生活クラブにおいては、今年度で廃止となり、西指導員が独立し引き続きその場所で新たな学童クラブを行うにあたり保護者説明会を行った。いろんな方向性が落ち着かず令和5年度の新入児童の受け入れが大幅に遅くなった。来年度は早めに準備ができるようにしていく。

	事業計画に基づく取組み・成果	課題・改善点
都島 1 2	今年度の取組みとして大きかったのは、子どもたち発信のイベントを、職員も入り込むことで子どもたちと大人一緒に作り上げ、イベントづくりへの興味が大きくなった児童やそのイベントを楽しみにしてくれる児童が増えたことであると思われる。夏祭りから始まり、本格的なお化け屋敷を数日かけて作成したハロウィン、飾り付けや当日のおやつ準備なども頑張ってくれたクリスマス会など活動の幅が広がった。急に前日などではなく事前に「イベントをしたい」と子どもたちから声を出してくれるようになったのも良かったと感じる。 また、引き続き前年度以前から取り組んでいる子どもたちの活動の環境の整備や声掛けによる活動のスムーズ化も浸透しており、自分たちで遊びの順番を決めることから、何かを遊びをするにおいても子どもたちが自分たちで活動を進めていくことができている姿も年間を通して多く見受けられたと感じた。	制作活動を行う児童が多数いたのだが、作ったものを自分たちのロッカーの上などに保管し、そのまま増えていくということが多発してしまう。また、その材料も補助員の先生が管理していたが、取り過ぎてしまうといったこともあった。自分たちで作ったものや、作る際の材料のなどを多々声掛けしていたが、なかなか最後まで浸透せずであった(特に低学年の女子たち)。自分たちからの積極的な制作活動への取り組みではあったが、そういった点の問題点もあり解決しきれたとは言えないものがあった。次年度はそういった点の解決を目指したい。
高倉	御幸生活クラブの児童が高倉生活クラブに移動したことで、より子どもたちの生活環境や関係性に注意を払いながらの始まりであった。初めは室内を個室のように区分分けし、少数での活動に焦点を当て、時間の経過とともに子どもたちの関係性が構築されてきたからはオープンなレイアウトに変更したことで学年関係なく交流する機会ができたのではないかと。また昨年度はW杯やWBCなどスポーツイベントに関連し子どもたちの室外での活動意欲も高まっていた。正規職員が子どもたちと活動することもあるが、基本的には子どもたちだけで活動ができるよう約束事や遊び方を子どもと一緒に考え、それらを繰り返すことで大人数での公園遊びでも少ない職員で見守りが出来た。大きな怪我や病院への引率も年間を通じ1回もなかったので怪我や事故への意識も職員間で上手く共有できていたのではと感じる。	オープンなレイアウトに変更したため、いくら注意しても少し走ってしまう等の行動が出てしまう。その都度の声かけに机などの配置に工夫が必要。 室外で活動する児童が増えた為、バットやボール等室外の遊び道具を買うなど整備する必要がある。 野球は活動場所を広く取るので今後も他の利用者にも配慮しながらの活動を継続。 室内の活動も充実したものにするためにおもちゃの見直し等も今後の課題に。
中野	中野生活クラブでは、子どもにとっての遊びや生活の環境が充実しており、その環境と、新しいお友だちや異年齢との関わりを通して、どういった成長や人間関係が生まれるのかを今年度取組みの一つとして努めました。 新一年生が大半を占める中、序盤は同年代同士で関わり、互いに刺激し合っていた部分に異年齢徐々にながわり、年度後半では、全学年一緒に一つの遊びに取り組む姿が数多く見られ、中野生活クラブはみんなが仲良く、中野生活クラブらしさと子ども同士この一年で大きな成長を感じることが出来た。	新施設へ移転が決まり、説明会を開催。その中で継続を選択された利用者へ、まずは出来る限り子どもの安全を見守り、保護者と連携を図り情報を共有する。そして利用者安心と安全を出来る限り理解して頂く。 また、リスクだけでなく、旧中野で出来なかった事や新施設でのメリットも、利用者へ伝えて行きながら、新しい場所での生活と安心が出来る生活の土台を作り上げていけるような取り組みを図り隣接する幼保連携型認定こども園都島児童センターとの連携も図っていく。
友渕	上半期はコロナの影響もあり、思うような活動はできなかった。今年度も遠足などの館外活動はなし。感染者増による臨時休館もあった。子どもたちが楽しみにしていた活動も中止や縮小。それでも子どもたちは遅く、コロナによる急な変化にも柔軟に対応してくれて受け入れてくれたところに成長と思いやりが垣間見えた。保護者の方も臨時休館などの対応にも受け入れてくださり、気持ちの部分で救われた。下半期はコロナの感染者減に伴い、活動も少しずつ以前の形に戻りつつあった。ハロウィンパーティーやクリスマス会などの行事準備のための買い出しを一緒に行ったり、他施設との交流も以前より増え、活動の幅が広がったように感じる。全体的な子どもたちの成長も著しく、高学年が行事の実行委員をしている姿を見て、2年生以下の子どもたちも積極的に実行委員をやりがり、能動的な活動が増えていった。活動中のトラブルも目立ったものはなく、大きな怪我をすることもなく1年を無事に終えることができたのが一番の成果だと感じる。	令和5年度は、職員の独立により、一般社団法人toiro「友渕学童クラブ」として新しくスタートとなる。

(2) 幼保連携型認定こども園・保育所

委託児童数（年間延べ人数）

※下段( )は障害児数再掲

園名	年	利用定員		4月初日 在園児数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
		1号	2.3号								
認定こども園 都島児童センター	1号	15	15				11	86	57	24	178
	2.3号	316	251		131	263	358	734	771	828	3,085
		331	266		131	263	369	820 (12)	828 (12)	852 (36)	3,263 (60)
認定こども園 友渕児童センター	1号	15	24				5	96	86	108	295
	2.3号	236	206		84	311	373	576	578	576	2,498
		251	230		84	311	378	672 (12)	664 (12)	684 (24)	2,793 (48)
認定こども園 成育児童センター	1号	6	5					19	24	24	67
	2.3号	90	81		102	180	195	181	178	177	1,013
		96	86		102	180	195	200 (12)	202	201	1,080 (12)
認定こども園 桜宮児童センター	1号	6	6				11	24	41		76
	2.3号	223	172		155	311	349	444	452	372	2,083
		229	178		155	311	360	468	493 (24)	372	2,159 (24)
認定こども園 ひがみや児童センター	1号	15	6				11	52	24	12	99
	2.3号	170	175		130	296	300	568	528	336	2,158
		185	181		130	296	311	620	552 (36)	348 (24)	2,257 (60)
都島乳児保育センター	3号	70	59		130	283	367 (7)				780 (7)
都島第二乳児保育センター	3号	60	56		90	318	312 (12)				720 (12)
都島友渕乳児保育センター	3号	30	30		76	144	137				357 (0)
渡 保 育 園	2.3号	80	67		24	210	195	204	118	72	823 (0)
松 島 保 育 園	2.3号	100	72		36	174	216	214	201	72	913 (0)
計		1,432	1,225		958 (0)	2,490 (0)	2,840 (19)	3,198 (36)	3,058 (84)	2,601 (84)	15,145 (223)

年度途中入所受け入れ状況

園名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都 島 児 童 セ ン タ ー			1	2	1	3	2		2	2	1			14
友 渕 児 童 セ ン タ ー		1	1	2	2	1	1		1		1	1		11
成 育 児 童 セ ン タ ー			2	3	1		1							7
桜 宮 児 童 セ ン タ ー			2		2	1		1			1			7
ひ が み や 児 童 セ ン タ ー			2	1	2	1	3		3	1				13
都 島 乳 児 保 育 セ ン タ ー			3	3			1	2	1		2			12
都 島 第 二 乳 児 保 育 セ ン タ ー			3		1		1		2					7
都 島 友 渕 乳 児 保 育 セ ン タ ー			2				1	4						7
渡 保 育 園					3			2						5
松 島 保 育 園					1			3		1				5
計		1	16	11	13	6	10	12	9	4	5	1	0	88

延長保育利用延べ人数

園名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都 島 児 童 セ ン タ ー		234	301	354	276	253	275	309	322	323	250	285	337	3,519
友 渕 児 童 セ ン タ ー		114	124	124	135	103	132	134	135	142	99	95	98	1,435
成 育 児 童 セ ン タ ー		126	135	149	116	101	89	135	158	164	164	176	162	1,675
桜 宮 児 童 セ ン タ ー		235	279	280	234	227	261	273	279	274	291	296	372	3,301
ひ が み や 児 童 セ ン タ ー		206	263	297	274	185	243	258	260	294	229	243	284	3,036
都 島 乳 児 保 育 セ ン タ ー		65	42	54	58	44	45	50	48	65	62	72	74	679
都 島 第 二 乳 児 保 育 セ ン タ ー		78	76	80	79	65	60	75	68	85	62	110	130	968
都 島 友 渕 乳 児 保 育 セ ン タ ー		12	28	36	31	21	30	45	39	39	32	16	46	375
渡 保 育 園		73	71	78	82	88	92	96	100	77	65	70	71	963
松 島 保 育 園		97	72	82	82	61	88	106	98	104	71	98	98	1,057
計		1,240	1,391	1,534	1,367	1,148	1,315	1,481	1,507	1,567	1,325	1,461	1,672	17,008

## 職員数(子育て支援事業含む)

(下段は無資格)

	常勤職員									非常勤職員			派遣職員			合計
	施設園長	主任保育士 副園長	主幹保育教諭	保育教諭 保育士	看護師	子育て支援員	調理師 栄養士	その他	計	常勤並	短時間	計	常勤並	短時間	計	
認定こども園 都島児童センター	1	1	2	17				1	22	7	6	13	1		1	46
										2	7	9	1		1	
認定こども園 友渚児童センター	1	1	2	14	1		1		20	13	4	17			0	41
											4	4			0	
認定こども園 成育児童センター	1		1	9					11	2	9	11	1		1	26
											3	3			0	
認定こども園 桜宮児童センター	1		2	14					17	7	10	17	1	1	2	40
											4	4			0	
認定こども園 ひがみや 児童センター	1		2	14				2	19	7	5	12	1		1	36
											4	4			0	
都島乳児 保育センター	1			7				1	9	8	4	12			0	26
										1	4	5			0	
都島第二乳児 保育センター	1	1		10	1		1		14	3	10	13			0	33
											6	6			0	
都島友渚乳児 保育センター	1	1		5					7	5	3	8	1		1	17
											1	1			0	
渡 保 育 園	1	1		9		1	1	1 (事務統括)	14	1	2	3			0	17
												0			0	
松島保育園	1	1		6					10	3	5	8			0	18
												0			0	
合 計	10	6	9	105	2	1	5	5	143	56	58	114	5	1	6	300
										3	33	36	1	0	1	

令和5年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

都島児童センター	
エアコン(更衣室用)	162,800
ノートパソコン	156,860
空気清浄機 7台	916,300
巧技台	185,000
4 件	1,420,960

友渕児童センター	
ノートパソコン 2台	391,600
1 件	391,600

成育児童センター	
ノートパソコン 2台	343,200
電子炊飯ジャー 2台	330,000
空気清浄機	143,000
防犯カメラ設備工事	1,980,000
4 件	2,796,200

桜宮児童センター	
外柵工事(分園)	308,000
ポータブル電源	176,100
物置設置工事 2台	620,000
デスクトップパソコン	165,693
タッチパネルディスプレイ	107,800
5 件	1,377,593

ひがみや児童センター	
ポータブル電源	158,500
ウレタンマット	281,710
ノートパソコン 2台	369,600
3 件	809,810

都島乳児保育センター	
外部コンセント増設工事	121,000
タブレット端末	118,800
ノートパソコン	146,850
防滴ワイヤレスアンプ	150,000
ホワイトボード他	110,000
ルーター	115,500
6 件	762,150

都島第二乳児保育センター	
空気清浄機能付除菌クリーナー	300,000
ソファ	158,950
ノートパソコン 3台	445,500
紫外線ランプ付き保管庫	250,000
外壁改修工事	14,089,108
5 件	15,243,558

都島友渕乳児保育センター	
GHP空調更新工事	4,070,000
ポータブル電源	141,600
2 件	4,211,600

渡保育園	
複合機	525,360
1 件	525,360

松島保育園	
なし	
0 件	0

主たる修繕

<p style="text-align: center;">都島児童センター</p> <p>排水管洗浄 消毒保管庫修繕</p>	<p style="text-align: center;">友渚児童センター</p> <p>便器部品交換他 排水管洗浄 スチームコンベクション修理 扉修理</p>
<p style="text-align: center;">成育児童センター</p> <p>汚水槽清掃 扉修理 電磁調理器修理他 スチームコンベクション修理 空調室外機修理</p>	<p style="text-align: center;">桜宮児童センター</p> <p>排水管洗浄 コードレス電話修理 スチームコンベクション修理</p>
<p style="text-align: center;">ひがみや児童センター</p> <p>厨房排水管洗浄 空調室内機洗浄</p>	<p style="text-align: center;">都島乳児保育センター</p> <p>木製巾木補修 空調室内機洗浄 污水管調査・洗浄</p>
<p style="text-align: center;">都島第二乳児保育センター</p> <p>消防設備更新 高架水槽塗装補修</p>	<p style="text-align: center;">都島友渚乳児保育センター</p> <p>ウォシュレット取替え 手洗器自動水栓修理</p>
<p style="text-align: center;">渡保育園</p> <p>エレベーター修理 空調室外機修理 高圧気中開閉器更新</p>	<p style="text-align: center;">松島保育園</p> <p>園内及び外部改修工事</p>

コメント(幼保連携型認定こども園1)

<p>都島児童センター</p>	<p>○取組・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、園児の受け入れを玄関(0歳児～3歳児)とピロティ(4歳児～5歳児)で行った。年度後半よりお迎え時に保護者の園内への入室を行った。</li> <li>・密を避けながら学年ごとに行う等段階的に行ったため混乱もなく、入室時に園内や子どもたちの様子を見てもらうことが出来た。</li> <li>・次年度より朝夕の送迎を保育室前まで保護者に行ってもらう予定。</li> <li>・感染対策をとりながら日々の教育保育に取り組んだ。行事については、前年度0歳～3歳児の発表会がDVDでの発表会となったため、初めて保護者の目の前で行うことになった。子どもたちの成長した姿をみていただき、保護者も喜んでいました。</li> <li>・また、コロナ禍で保育参観を中止していたため、体育参観を行い、子どもたちの日頃の様子を見て頂く機会を設けた。</li> <li>・多くの保護者が参加され、子どもたちの普段の様子をみてもらうことが出来た。</li> <li>・HPの更新を頻繁に行い、園内の様子を保護者に伝え、理解していただくことが出来た。</li> <li>・0歳児～3歳児まで途中入園児を14名受入れたが、職員の配置状況やクラス担任と連携をとりながら落ち着いた環境の中で受け入れることができた。</li> <li>・年度途中で産休育休に入る職員が5名いたが、職員のクラス替えや派遣職員を確保することでクラスを運営することが出来た。</li> <li>・労働時間内の終業を目指し、職員間の連携を図るとともに職員の意識も少しずつ変わってきているものの、まだまだ目標には至っていない。働きやすい職場作りを目指し体制を整えていきたい。</li> <li>・各学年に配慮を必要とする園児や気になる園児がおり、園児や保護者への対応に苦慮していたが、専門の講師を依頼し職員研修を定期的に行うことで個々への支援方法や保護者への対応等、更に理解を深め実践することができた。</li> <li>・法人内のキャリアアップ研修に職員13名が参加し、職員のスキルアップに取り組んできた。現場で活かせるようにしていきたい。</li> <li>・無資格の非常勤職員が保育士資格を取得した。(1名)</li> </ul> <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務内容を明確にし、職員一人ひとりが職責を理解し、達成度の評価、技能習得、経験に応じた処遇改善を行うことで、意欲的に仕事に取り組めるようにしていきたい。</li> <li>・行事や職務内容・職務分担を見直し、職員からの提案を聞きながら業務改善を図ると共に労働時間内の終業を目指す。</li> <li>・園内研修を充実させ、職員の更なるスキルアップを目指す。</li> <li>・新人職員確保に向け職員にも周知し、実習生や見学者を新規採用に繋げていくようにする。</li> <li>・職場体験(中学生)や夢体験(高校生)等、感染状況を考慮しながら受け入れしていきたい。</li> <li>・中野生活クラブの移転により小学生との交流等も活発に行っていきたい。</li> </ul>
<p>友淵児童センター</p>	<p>理念、方針、目標、発達過程などを踏まえ職員の共通理解のもと、教育・保育課程を再考し、年齢に応じた発達記録シートの見直し、教育保育内容の充実、また、すべての職員が職責に応じた必要な資質向上の為の研修を受講し質の向上を図る。</p> <p>○取組成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に関して、年長児クラスのお別れ遠足である六甲雪滑りや保護者主催ミニバザー『Autumnフェス』の開催なども3年ぶりに実施した。ようやくコロナ禍も終盤を向かえ保育体制も以前の形に少しずつ戻りつつある。</li> <li>・友淵小学校教員の職場実習の受け入れが復活するなど地域交流も少し変化があった。</li> <li>・職員の職責に合わせた研修体系に基づき、資質や専門性の向上を図るため、園内での研修を充実させた。</li> </ul> <p>○反省改善</p> <p>《職員の協力体制・資質向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主担任の役割や、専門性を伝えていたが、職員間の連携不足、伝達漏れ、業務の優先順位等まだまだ習得できない場面が多くみられた。その都度副園長、主任、主幹保育教諭がフォローしてきたが、下半期には保護者より職員間の連携不足の苦情を2件を受けた。朝ミーティング、当番からクラス担任への伝達を再確認し、漏れのないように改善していった。</li> <li>・園全体をひとつのクラスとして捉え、担任以外の全ての子どもにも目を向け、一人ひとりの子どもの状況などについて共通理解できるようにする。</li> <li>・各リーダーには副主任・専門リーダー・職務分野別リーダーの人事発令をし、処遇改善費Ⅱを支給。キャリアパス研修を受講し、さらなる資質向上を図る。</li> <li>・各主担任には個々の職責を再度見直してもらい、後輩指導の在り方、立場を再認識してもらう。</li> <li>・看護師を仲立ちとし、日々の保健衛生や職員のメンタルケアにも留意していく。</li> </ul>

コメント(幼保連携型認定こども園2)

<p>成 育 児 童 セ ン タ ー</p>	<p>R4年度の事業計画として、質の高い教育・保育の提供、地域子育て支援の充実、職員間の連携やキャリアアップなどを掲げると共に、広報活動を活発に行い園内外に園のPRに努めた。</p> <p>○取組、成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じながら、その時々に応じたやり方で日々の生活や行事を行った。保護者には国(大阪市)の対策が変わるたびに書面やよい子ネットを通じて、園はどのように考え、どのようにしていくかを説明したことで混乱することなく過ごせた。3～5歳児のマスク着用については6月に一旦解除としたが、8月末に園内でコロナの発症者が十数名になり、休園を機に再度着用をお願いし、その後年が明け1月中旬より再度マスクの着用は解除とした。園内の状況に応じた対応ができたと考える。</li> <li>・保護者が園内へ入ることが出来ないことで、積極的にホームページで園内の様子を伝えていたが、保護者からの要望でホームページの『せいいく動画』についてはパスワードを付け、閲覧を限定とした。限定としたことで名札や名前を呼ぶ等のシーンも上げることが出来、より保護者には園での様子をしっかりと伝えることが出来た。</li> <li>・コロナの感染状況が落ち着いた時点で、保護者には園内に入り送迎をしてもらうようにし、体育活動の参観を行ったり、5歳児のみ期間を限定し保育参加を行った。3年振りの保育参加に保護者は非常に喜んでいて、</li> <li>・養成校の学生が園に興味を持ってもらえるようなホームページの内容にしたことで、ホームページを見たという問い合わせが何件かあったので、今後もホームページを充実させ保護者限定に偏らないようにした。また、実習に入った学生には積極的に話しかけ、園に興味を持ってもらえるように働きかけ、全職員が同じ思いで実習の受け入れをするよう取り組んだ。</li> <li>・外部講師による特別活動(体育(全園児)、英語(4～5歳児)、プログラミング(5歳児)、音楽(3～5歳児))は、子どもたちが楽しみながら取り組み、できることが増える一方で、協調性、共感や思いやる心、コミュニケーション力、意欲や粘り強さ、頑張る力など非認知能力も育った。また、子どもたちの意欲や能力を引き出す講師の関わり方からは職員も多くの技術を学んだ。私立保育園連盟の調査研究で体育についての指導方法を研究することし、鉄棒やマット運動、跳び箱の指導方法を学び、平素の保育の中に取り入れることが出来た。</li> <li>・今年度より看護師が週5日勤務していることで、全職員に向けてアレルギー、怪我の対処、AED等の看護研修を受けることが出来た。また、5歳児に向けての『命の話』の講話を年3回行い、園児が心について考える時間が持てた。看護師はフレンドリーせいいくで、月1回身体測定に出向き、利用者の育児での質問や身体的な質問に答えたり、年3回は利用者に向けての講座を行い、地域の子育て家庭に貢献した。</li> <li>・職員の業務改善の一環として、夕方の清掃業務担当者を1月から採用した。正規職員の業務がコロナ禍で益々煩雑になっていたこともあり、園児の昼寝中に行っていたトイレ、地下、階段の掃除を夕方の清掃担当者が行うことで、昼の時間に書類と制作等の準備ができるようになった。</li> </ul> <p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規の勤務時間、勤務曜日が個々に違うため正規職員がシフトを組む際に戸惑うことが無いよう連携を図ると共に視覚で確認しやすいうホワイトボードに記し、間違いのないようにする。</li> <li>・リーダー職員を中心に園の業務がスムーズに行え、活発な話し合いの場が持てるようにする。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類になる事で、様々な行事が再開できると予測できるが、行事を経験していない職員がいるため丁寧に説明をしながら開催に向かると共に、行事のあり方についても再度検討をする。</li> <li>・ホームページは、今年度、保護者用としてパスワードを付けた動画や写真をアップするようにしたが、保護者用と広報用の違いを決定せずにスタートしたため、曖昧になっている。個人情報の観点からどこまでを広報用としてアップするかを検討し、マニュアル化をする。</li> <li>・外部講師の講師からの学びと、園としての思いや意見を交換しながらすすめていけるよう担任間、職員間で特別活動に対しての共通理解をする。</li> <li>・キャリアアップ研修で身につけたスキルが、園全体のレベルアップにつながるような取り組みを進めていく。</li> <li>・園見学に来た学生や実習に来た学生が、法人もしくは当園に就職したいと思うような働きかけをしていくことを、非常勤を含め全職員が共通理解をし1人でも多く採用に繋げていく。</li> <li>・夕方の掃除担当者を採用したことで業務の改善は図れたが、掃除や消毒の方法を正規職員が分からないということが無いようにしていく必要がある。</li> <li>・園児の定員設定上、3歳児での1号認定園児の受け入れが難しく、保護者の離職によるところとなってしまふ。</li> </ul>
<p>桜 宮 児 童 セ ン タ ー ( 続 く )</p>	<p>令和4年度の事業目標として、前年度に引き続き、法人の理念・方針のもと、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき0歳から小学校就学前までの一貫したより質の高い教育保育を提供することを掲げた。</p> <p>○取組・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年目となったコロナ禍のため、思うような生活ができない中ではあったが、少しずつできることを考え実施できた一年間であった。</li> <li>・日々子どもたちが生活する環境を安全に過ごせるよう、危険個所のチェック等職員で確認し、情報を共有して子ども達が安心安全に過ごせる環境づくりに努めた。また、ヒヤリハットの記入、集計、振り返りを行うことで事故を未然に防ぐことができるよう職員の意識に繋げるよう取り組んだ。</li> <li>・年度初め10名でスタートした0歳児は、年度途中の受け入れの結果、3月には15名となった。</li> <li>・防災では、リスクマネジメント委員会を中心に日頃からの訓練や対策等を見直す機会を設け危機管理の重要性・マニュアルの見直し、保護者への連絡方法としてよいこネットの活用、職員間も緊急時のライングループの再構築を行った。</li> <li>・保護者会との連携を丁寧に行い、感染防止対策をしながら保護者会主催の秋バザーの開催、収益で移動動物園・シャボン玉ショーなどたくさんイベントの開催ができ、子どもたちにとっても楽しい経験ができた。</li> </ul>

コメント(幼保連携型認定こども園3)

<p>桜宮児童センター(続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関係においては、仮園舎の時にできた関係の中で、ボランティアによるすいかやぶどう、さつまいも、大根、かぶらなどの栽培を通じ、子ども達も貴重な体験ができた。また、コロナで中止となった行事を見直し、できることを職員みなで考えて計画実行した。</li> <li>・職員の育成については、処遇改善と連動したキャリアアップ研修のとなり7名の職員が受講した。</li> <li>・年度途中での離職者、産休取得者がいたので派遣職員の採用で職員体制を整えることとなり厳しいことが多かった。 職員の有休消化率は、62%であった。</li> <li>・令和2年、3年、4年度と連続で卒園児の採用ができた。実習生や見学者を含めて今後も採用につながるよう努力する。</li> </ul> <p>○課題・反省・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度の後半から保護者に園内へ入ってもらうことを少しずつ取り入れ、園児の様子を見てもらえるように継続し、保育参加をできる形での復活を計画し、コロナ以前の生活に戻せるように整えていきたい。</li> <li>・管理職、特にリーダー職員には後輩指導の在り方や自身の立場の再認識が必要であると考え。若い職員の保護者対応の技術を身に付ける研修を行う。</li> <li>・組織図、職務内容を理解し、組織の中でそれぞれの職務に意欲をもって取り組めるムードをつくる。また、体調やメンタル面など職員の状態把握にも努める。</li> <li>・職員の就業時間内での業務の終了を目指し、仕事の段取り等見直し改善を引き続き図る。休憩時間が少しでもとれるように意識改革をしていく。</li> <li>・保護者や地域に園の取り組みやその意図がより伝わるように、ホームページには動画のアップ、おたより等の写真や文章内容の充実をはかる。</li> </ul>
<p>ひがみや児童センター</p>	<p>○取り組みと成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保連携型認定こども園教育保育要領を踏まえた法人の《全体的な計画》に基づき保育・教育を行ってきた。定員数は令和3年から3ヶ年計画で令和5年度に目標であった利用定員数を240名にする。</li> <li>・都島第二乳児保育センターと二園会議を毎月開催し子どもの様子の共通理解、合同行事開催等、話し合ってきた。</li> <li>・今年度も『それいゆ』より障がい児が1名入園。支援の必要な子どもの『それいゆからひがみやへ』の目標を達成することが出来た。また『気になる子』の保護者との共通理解(3名)が出来た。これらは毎年職員の観察力、保護者から職員への信頼があるからこそだと思う。</li> <li>・コロナウイルス対策で密を防ぐため、換気の時間設定、手洗い、消毒、マスク等努力した。保護者の方には送り迎え時のマスク着用、入り口での受け入れ、毎日の検温等協力を依頼。</li> <li>・地域貢献では、地域の行事が例年通りに開催することが出来ない中、近隣病院の待合室に子どもたちの作品を展示。地域支援で東都島地域の『ゆうゆう』も協力、勤労感謝では水道局に作品のプレゼント、地域の公園の掃除等行った。</li> <li>・保護者参加行事としては小規模ではあるがバザー開催。運動会、発表会、卒園式等は人数や内容を検討し行った。発表会、雪滑りは久しぶりに再開した。</li> <li>・職員のスキルアップとしてはキャリアアップ研修(12名)、保育士免許取得を勧める。職員採用では今年も実習生から1名が採用に繋がって現在9年連続で採用。実習生指導の職員が貢献している。また、パート職員(途中採用)を地域から2名採用。1名は当園にもう1名は他園にも繋げることが出来た。</li> </ul> <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保連携型認定こども園に移行し2年。これからも、0歳から小学校就学前までの一貫したより質の高い教育及び保育を提供していきたい。</li> <li>・職員については、働きやすい環境作りを心がけ有休取得率を上げる。5年度も実習生を採用試験受験者に繋げる(目標2名)。離職率を下げる。主任、リーダー職員の育成強化。職員のスキルアップは保育士免許、幼稚園免許取得(各1名)、キャリアアップ(12名)を目標とする。</li> <li>・職員が体調不良や入院、怪我等で傷病手当申請を4名申請した。すぐに復帰できたが体調管理等に気を付けるよう指導していきたい。</li> <li>・昨年に引き続き、地域との関わりを意識的に行う。コロナ禍後の過ごし方、かかわり方。4施設間の交流。</li> <li>・都島第二乳児保育センターとは土曜保育の合同、園児、職員交流等で職員同士の共通理解等を深めたい。</li> <li>・コロナウイルス対策では、マスクのつけ外しやマウスシールド等を使用し使い分けをしたい。保護者の館内入館も可とする。</li> <li>・地域との関係性も強く第三町会の方から今年度も卒園式にパルーンアーチを作成していただいた。地域からも愛される施設を目指したい。</li> <li>・小学生のクラブ活動の認知度を高めピアノ個人レッスンを始める。</li> </ul>



コメント(保育所1)

<p>都島乳児保育センター</p>	<p>○コロナウイルス対応・施設          ・新園舎生活も3年になり、下水の流れの悪さ、壁紙の剥がれや汚れ、床の木片の剥がれなど、目立ってきた状況に応じて補修をした。ドアフォン破損で新規購入。コロナウイルス対応としてはR4年11月初旬に園児及び職員の感染が拡がり、通常の保育運営が難しいと判断し、大阪市と協議の結果2日間休園した。年末から年始にかけてはインフルエンザの発症も目立ち、更なる消毒や環境整備を徹底した。2歳児のマスク着用は前年度からの対応に保護者も職員も慣れていたのでスムーズであった。園児の活動内容に応じて着脱を指示した。</p> <p>○保育運営・園児関係・事業全体          ・保護者の集まる懇談会や行事も感染防止をしながら少しずつ行い、配慮が必要姓のある子どもの保護者には保育参加を実施。0歳児入所の保護者にはその都度の離乳食見学日を設定し、安心できる園生活を連携を取りながら進めた。          ・4月当初在籍児童数が年々減少する中、園児の途中入所受入れは5月からはじめ年間12名を受け入れた。発達の気になる園児については「子ども発達サポートステーションそれいゆ」の巡回相談を依頼、保護者からの相談も受けながら援助へと繋いだ。          ・HPに職員の手遊び動画などを掲載、地域の未就児童の保護者もそれを見て「入所申込」に来た人もいた。</p> <p>○職員体制・施設管理について          ・主任が病気療養中である状況からスタートしたが、残念ながら11月末で退職となった。主任の役割をリーダー職員と確認しながら他職員にも分担した。          保育や環境整備で気づいた点は職員間で意見を出し合い改善した。年度途中で2名の職員(子育て支援員・保育補助者→R5年度新規採用職員)を採用、より丁寧な保育を実践した。早朝保育担当職員の採用には結びつかなかった。          ・11月に手足口病の感染が広がり、日々の消毒や清掃に更なる徹底をしたが、園児の4割が感染し保護者にご迷惑をかけた。          ・保護者参加の行事はマスク着用や小単位での入れ替え制にもご理解いただき大きな問題なく取り組めた。          ・キャリア・アップ研修は正規職員が3名受講し全員修了。職員のほとんどが4分野の受講修了した。          ・主任不在により職員の当番数が増加(早朝や延長当番)したが、利用園児数が少人数であったため当番時にも交代で書類作成などができた。          ・職員の年間有休消化率は41%(前年より減少)          ・職員採用は実習経験者1名、高校生職場体験者1名</p>
<p>都島第二乳児保育センター(続く)</p>	<p>◎取り組み          ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、保護者には玄関までの送迎を行っていたが、状況をみながら少しずつ緩和し6月中旬から夕方のお迎え時のみ園内に入っていたが、9月からは登園時も園内に入っていたようになった。子どもが部屋で過ごす様子、職員の様子などを直に見ていただくことが出来るようになり「おいたちの記」で記述していることが保護者には伝わりやすくなった。保護者と担任とのコミュニケーションの時間も増え信頼関係がより深まったように感じた。9月から約4か月間の間、南隣の建物解体が再開される中での園生活となったが、作業内容、時間帯についてを毎日業者と確認し、保育に支障が起きないように同じ建物内の研修センターを活用するなどし安全を確認しながら保育を行った。          ・新型コロナウイルスの感染については、夏から秋にかけて保護者、園児、職員の陽性者が数名報告された。園内での感染拡大には至らなかったが日々、室内や玩具等消毒の徹底を行った。          ・保護者参加の行事についても、人数制限を行いながらクラスごとに開催することでより保護者同士も交流が出来ていた。2月には0歳児、1歳児、2歳児それぞれクラス単位で生活発表会を開催、日ごろから慣れ親しんでいる場所で行ったので子どもたちも落ち着いており、保護者の方にも子どもの姿を間近に見ていただいたので終始穏やかな雰囲気の中ですすめることができた。          ・職員については、正規職員が前半に2名退職したため、急遽クラス担任を変更するなどし対応した。非常勤職員の短時間勤務者が増え日々シフトが変わるため、職員間の連携がより一層問われた。一人ひとりの連携に対する温度差もあり、職員全体で「より良い連携をすすめるために」というテーマでグループワークを行った。「挨拶をする」「クラスの状況の共有を行う」「声を掛け合う」などのグループも大体同じ意見だった。皆同じ気持ちで仕事をしていることを確認し合える機会にもなった。          ・ひがみや児童センターとの交流については昨年度よりは機会を増やすことができ、ひがみやホールでの音楽イベントやけん玉ショーなど一緒に参加したり、園庭に遊びに行くなど進級先の園として子どもや保護者にも身近に感じてもらうことを意識した。          ・不適切保育についてのチェックリストを個々で確認し自身の保育の振り返りを行った。保育中の園児の人数確認等も常に声を出し合い保育者同士意識しながら行った。</p> <p>○今後の課題          ・ひがみや児童センターへ進級する保護者への説明が足りていないところもあったため、来年度は進級についての内容をひがみや園長に直接話をする機会を設けるなど、保護者の方の進級園に対する心の準備となるよう考えていく。また、ひがみや職員との交流会も増やし、土曜日は共同保育を行い、行事共同開催についても積極的に回数を増やしていく。          ・乳児の専門園としての環境整備を常に考え、乳児保育内容についても園内外での研修を受けスキルアップをすすめる。          ・屋上の気温が夏場は高温になるため水あそびが楽しめない。テント設置も考えながら日よけ対策をし安全な夏場のあそびをすすめたい。          ・南側建物がなくなり園舎への直射日光が強くなるため、すだれ等の日よけ対策を行いながら室温管理を行う。          ・正規職員の数が減ってきているため一人ひとりの仕事の負担が増えてきている。その中で人間関係にも影響があり、挨拶や連絡などについての大切さをもう一度再確認しながら進めて行くことが重要になる。シフトや仕事内容も再度見直し整理することで業務負担の軽減になるので職員全員で考えて行っていく、また、非常勤職員にも出来る範囲で業務分担し、職員同士の信頼関係がより深いものになるようすすめていく。          ・職員会議という形式ではなく、普段から職員間で話し合える機会をつくり、それぞれが考えて行動に移せるような環境づくりをおこなう。</p>

コメント(保育所2)

都島第二乳児保育センター(続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体で魅力のある職場づくりをテーマとし、具体的な策を考えていく。来年度は離職者0人を目指す。</li> <li>・4月から派遣職員が1名加わるため、スムーズな職員同士の関りも含め仕事の役割分担について常時確認し合う。</li> <li>・実習生や学生ボランティアからもこの園に就職したいと思ってもらえるような魅力のある保育園を目指す。</li> <li>・次年度は都島第二乳児保育センター開園50周年を迎えるため、記念行事を立案し園児、保護者も含め楽しんでいただけるイベントを年間行事の中に組み込み開催する。</li> <li>・南側のスペースについては、花や季節の野菜などをの植物を置き園庭の雰囲気づくりを行う。近隣のご迷惑にならない程度に気候のよい時期には乳児の外遊びの場所として活用していきたい。</li> </ul>
友渚乳児保育センター	<p>○取組成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、新しく主任・異動職員1名・新人職員1名を迎えてのスタート。職員間で連携を取りながら大きな事故や怪我無く過ごせた。</li> <li>・昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常的には園児の受け入れを玄関先で行い、保護者は園内に入れない状況を継続させた。感染の増減状況に応じて園行事への保護者の参加回数・参加人数を変えることで、子どもたちの姿を近くで見ることができた。保護者の方にも喜んでいただき、保護者との距離も少し近づいたように感じる。</li> <li>・保護者と個人懇談を随時行い園と家庭で情報を共有することで、親子で安心して園生活を送ってもらえるように努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、看護師指導のもと、社会の変化に合わせた消毒の仕方と知識を身につけ「持ち込まない・持ち込ませない・広めない」ための消毒・除菌を継続して行う。</li> <li>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、職員・園児の健康に常に留意する。1年を通して職員(4人)・園児(8人)の陽性者が出た。</li> <li>・園内外の危険な場所、リスクの潜みを、日々の点検と定期点検(月1回)で明確にし、危険箇所はすぐに修理・修復を行う。</li> <li>・園内倉庫・備品等の大清掃、不要物の廃棄処分を行い、衛生的かつ保育業務の効率化につながる収納にする。</li> <li>・ホームページの継続</li> <li>★ホームページで園や子どもたちの成長の様子を伝える。「友乳ダイアリー」「友乳動画」で、園での様子・情報をいち早く保護者に伝えるため随時UPした。(各クラス月1回以上を目標。その他、園の行事、職員ページも)</li> <li>★ホームページは、地域に向けて園の様子を知っていただくことも目的にしているが、『パスワード』をつけて在園している保護者の方へのみ配信する動画も作成。『特別感』が嬉しいと保護者からの声もたくさんあった。 *今後も、個人情報の取り扱い(名前等)に注意し継続していく。</li> </ul> <p>・保育所保育指針に基づき、乳児期及び1歳以上3歳未満児の保育において、子どもの安定を図りながら自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守るとともに愛情豊かに応答的に関わるよう職員間でしっかりと再確認し共有する。乳児でも人権に配慮した関わり・保育を行うよう、会議のたびに確認し合う。</p> <p>→5月 新入園児の泣き声に、近隣の方から『虐待通報』が入り、警察の立ち入り・聞き取り等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友渚児童センターとの二園協力・交流は、新型コロナウイルス感染症者の状況に応じて保育者や子どもたちの交流を行う。職員間は連携をとりカリキュラムや行事準備などは協力・連携して行えた。</li> <li>・行事においても「かたち」や「手段」何より「意識」を変えて、可能な限りコロナ禍前の状態に近づける努力した。運動会は、保護者2名の二部制から一部制(保護者競技はなし)で開催。発表会(0歳児も含む)については、クラス完全入替制(保護者2名)の参加で園内で3年ぶりの有観客行事が実現した。保護者の方からは「DVDではなく生で子どもたちの様子がみられて嬉しい」「両親で初めて保育園の行事に参加できた。祖父母も参加できるようコロナが落ち着いてほしい」とたくさんの感想と感謝の言葉を頂いた。</li> <li>・病後児保育の利用実績は55人。新型コロナウイルス感染症の状況、医師の診断状況、保護者からの聞き取りにより利用者の状態を見極め受け入れを行うことで、昨年度より病後児保育の利用者が増えた。後半はインフルエンザの静養期間による利用者も多かった。</li> <li>・病児・病後児保育合同登録会に参加し区外の新規登録者を獲得。</li> </ul> <p>○反省改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況により、行事等で保護者に園内に入っていただく機会が増え、保護者の方とのコミュニケーションも取りやすくなったことはよかった。令和5年度からは保護者の方に園内にお入りいただき送迎をしていただく。(感染症等の流行が著しい場合は、一時的に園への立ち入りを制限することで拡大防止に努める。)</li> <li>・引き続き、保護者の方には子どもの様子等、丁寧に伝え信頼関係を深める努力をする。</li> <li>・保護者の保育参加を再開する。(給食提供はなし)</li> <li>・2年目職員が自信の再確認も含め、新人職員の気持ちに寄り添いながら相談・指導を行う。育成、リーダーの役割を明確にする。個々の職員の長所を活かしチームの能力を最大限に引き出し「チームワークの向上」を図り、職員一丸となって日々の保育に従事する。</li> <li>・各リーダーには専門リーダー・分野別リーダーの人事発令をし、処遇改善費Ⅱを支給。次年度もキャリアパス研修を受講し、さらなる資質向上を図る。</li> <li>・リーダーには自身の職責を再度見直してもらい、後輩指導の在り方、立場を再認識してもらう。</li> <li>・病後児保育利用者数は50名を目標とし、法人各園はもちろん、地域・区外の方も積極的に受け入れをしていく。</li> <li>・法人各園・都島区近隣園への呼びかけを行い、新規登録者・新規利用者の獲得に努める。また、RS・ヘルパンギーナ・手足口・アデノウイルス(流行性結膜炎以外)の急性期の状態が過ぎたころの受け入れも利用者の状況に応じて対応していく。</li> </ul>

## コメント(沖縄)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">渡 保 育 園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症も3年目となり、保育室や玩具の消毒、健康チェック、行事の人数制限等で感染拡大防止の為の対策を徹底した。</li> <li>・コロナ禍の為、日々の遊びや行事の動画を撮影したり、作品展を園のホームページに掲載した。</li> <li>・外部研修を可能な限り受講させ、法人内研修は新人研修、虐待、個人情報、守秘義務、法人の成り立ち、設立者の思いを知りより良い保育を目指すための共通理解を図った。</li> <li>・特色である郷土文化伝承の琉舞やエイサー、旗頭等継続して取り組んだ。</li> <li>・英語教室への加入が増え、5歳児まで継続する園児が増えつつあるので継続していきたい。</li> <li>・次年度の採用が思うようにできなかったことを反省し、年度途中の採用に努め、また職員の定着に努めたい。</li> <li>・少しでも不適切な保育としてとられないよう愛情いっぱい丁寧な保育を心掛ける。</li> <li>・ホームページの充実を図り、保護者や外部の方が閲覧し、保育園の良さを感じてもらおうよう努めた。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">松 島 保 育 園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用は何度も養成校へ出向き、依頼をしたが学生の就職に対するスタイルが大きく変わり、人材紹介会社に登録し面接に来るようになった。職員採用においては入所に繋げながら若い保育士を採用し育て、これからの保育を担う人材の育成に力を入れたい。</li> <li>・保育においては、年中児・年長児からはみわらび館のピアノ教室、また体育指導、絵画指導、英語教室等の教育部分を継続して進めた。</li> <li>・父親座談会、子育て相談コロナ禍で進める事が出来なかったので再度計画していきたい。</li> <li>・特色である郷土文化伝承のエイサー、旗頭等継続して取り組んでいる。</li> <li>・園内研修では法人の成り立ち、創設者の思い、現理事長の方針を全職員が知ることのできる内容で進めている。</li> <li>・食育に力を入れ、ゴーヤーやオクラ作りを自分たちで育てた野菜を食する喜びを味わい食育につなげることができた。</li> <li>・ホームページの充実を図り、保護者や外部の方が閲覧し、保育園の良さを感じてもらおうよう努めた。</li> </ul>

### (3) 児童厚生施設・子育て支援事業

#### 児童厚生施設-教育クラブ(都島児童センター)

クラブ名	講師	レッスン	時間	対象児童	年間延利用数
英語	2	水曜日	13～18時	幼児～小学生	788
絵画	1	火・金曜日	13～18時	幼児～小学生	1,836
バレエ	1	水曜日	13～18時	幼児～小学生	1,764
書道	1	木曜日	14～18時	幼児～小学生	1,872
ピアノ	5	火～金曜日	15～18時半	幼児～小学生	1,549

#### 子育て支援事業の実施状況

	①一時保育事業 (一時預かり)	②地域子育て支援 拠点事業	③病後児保育事業
友渕児童センター		大阪市委託:ひろば型	
成育児童センター		大阪市委託:ひろば型	
都島第二乳児保育センター	大阪市補助	大阪市委託:センター型	
都島友渕乳児保育センター			大阪市委託
渡保育園	法人独自		
松島保育園	法人独自		

#### ①一時保育事業

##### 「すくすく」(大阪市補助事業)

延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一時預かり事業	85	89	142	108	120	126	142	146	153	138	151	160	1,560

##### 法人独自事業

延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
渡保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松島保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### ②地域子育て支援拠点事業

##### センター型-「地域子育て支援センターのびのび」(大阪市委託事業)

地域支援活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
回数	20	19	22	20	20	20	20	20	20	18	19	20	238	
延べ利用者数	大人	92	86	133	110	103	136	123	110	103	102	114	141	1,353
子ども	97	88	135	114	108	140	131	120	115	106	117	145	1,416	

相談・援助活動	基本的生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数	125	92	13	3	111	88	432

##### ひろば型-「フレンドリーともぶち」(大阪市委託事業)

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	20	19	22	20	20	20	20	20	20	18	19	22	240
延べ利用者数	大人	58	68	85	79	81	104	109	109	96	82	96	1,079
子ども	65	73	88	83	86	109	115	112	101	88	105	116	1,141

相談・援助活動	基本的生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数	318	626	54	119	81	167	1,365

子育て支援講習等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	5	6	5	7	5	4	5	6	6	5	6	6	66
延べ利用者数	大人	9	14	20	22	12	7	17	20	19	12	18	187
子ども	9	17	20	22	12	7	17	20	20	12	20	17	193

##### ひろば型-「フレンドリーせいいく」(大阪市委託事業)

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	20	19	22	20	20	21	20	20	20	18	19	22	241
延べ利用者数	大人	106	111	133	139	141	160	198	173	219	186	217	2,052
子ども	108	107	133	141	140	161	202	177	225	195	225	274	2,088

相談・援助活動	基本的生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数	72	37	13	3	27	16	168

子育て支援講習等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延べ利用者数	大人	6	8	4	6	6	3	5	6	14	9	12	85
子ども	6	7	4	6	6	3	5	6	15	10	12	5	85

#### ③病後児保育事業

##### 病後児ルーム「ひまわり」(大阪市委託事業)

定員4名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	1	5	7	11	6	7	6	4	3	2	1	2	55

コメント(児童厚生施設・子育て支援事業1)

<p>教育クラブ</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症流行前の活動状況に戻るが、感染対策をとりながらクラブ活動を行った。全体的に利用人数も以前の人数と同じくらいまで戻ってきた。クラブによっては新型コロナウイルス感染症拡大以前より増えているクラブもある。英語クラブに関しては、前年度より小学生の利用人数が減少した。</p> <p>・講師との連携がスムーズになり、また、講師から直接保護者へ発信することが定着した。</p> <p>・今年度よりピアノクラブの発表会を再開した。保護者2名と参加者は限定したが、子どもたちの日頃の成果を見ていただく良い機会となった。</p> <p>・バレエクラブの発表会を初めて4階ホールで行った。5歳児のみの参加で、ひがみや児童センターと合同で行った。今回は都島児童センターで行ったが、ひがみや児童センターと1年ごとに場所を変えて今後も行う予定である。</p> <p>○課題</p> <p>・習字クラブの講師が高齢のため、後任の講師を検討していく時期がきていると感じる。</p>
<p>一時預かり事業</p>	<p>◇年間目標利用者数について・・・昨年度は緊急事態宣言発出等で目安としていた人数までに達することができなかったが、今年度は受け入れ態勢と新規受け入れをうまく調整することで目標人数(のべ1,500名以上)を受け入れることができた。</p> <p>◇利用理由の傾向・・・どの年齢も育児負担緩和が一番多く、続いて就労、通院・出産関連となっている。昨年度と違い、0歳児の育児負担緩和が多く、保護者からの育児方法や発達についての悩みに対応することも多かった。</p> <p>◇利用者の居住地域・・・都島区(72%)北区(15%)城東区(6%)旭区(6%)その他の区(1%) 北区の利用が減少したが、城東区・旭区の利用者が微増。都島区内では、本通(42%)友渕(15%)善源寺(13%)北通・内代(8%)。今まで多かった善源寺が昨年に引き続き減少。本通の利用者の増加は、新しいマンションへの入居者増の影響が考えられ、友渕地域については、フレンドリーともぶちで一時預かり事業を知った方の利用も増加したためと考えられる。</p> <p>◇進級先について・・・都島第二乳児保育センターへの途中入所及び、令和5年度入所児数は5名。法人内の保育施設への途中入所及び令和5年度入所児数は11名となった。</p> <p>◇電話受付方法の変更・・・ひまわりネットを電話受付にすることで、受け入れがスムーズになった。(新規利用の方がホームページを確認されていることがよくわかった。)</p> <p>○今後の課題</p> <p>就労以外にも育児のしんどさを理由に利用される方が多い。また、のびのびの相談内容には一時預かり事業に関心を持たれる方も多く、のびのびとすすくの職員間で情報交換をしながら受け入れが必要な方の把握も行っている。今後も保護者の様々な利用理由を理解しながら、それぞれの家庭に見合った受け入れを心がけていきたい。また、担当職員の働き方も様々であるため、利用者の状況や情報の正しい共有は、最も重要な課題である。情報交換の方法を日々確認しながら臨みたい。</p>
<p>地域子育て支援拠点事業センター型</p>	<p>今年度はInstagramを活用し、地域子育て支援の周知活動を始めた。コロナ禍で気軽に利用できない方にも情報提供を行っている。</p> <p>年間登録者は136組(内、新規利用は115組)であった。子育てに関する相談は432件で相談の内容は「食事」「身体の発育」「睡眠」についてなど様々である。特に第一子を育てている方や遠方にご実家のある方は不安を抱えていることが多く、何気ない会話の中で出てきた質問に具体的に丁寧に応えた。感染症対策として親子交流では引き続き入れ替え制で定員をおおむね4組、先着順での対応とした。入れ替えの合間の30分で室内の消毒と玩具の入れ替えを行っている。また例年0歳のニーズが高く、月齢ごとに過ごせる時間帯を設けることで皆が利用しやすいように工夫した。ブックスタート事業については(毎月、主に第2木曜実施)申し込みが多い月は2部制で対応する日も設けた。ふたごの会『はぐはぐ』も月1回(主に第1月曜日)に実施し、先輩ママからの経験談やアドバイスは育児の助けになると好評。また、2カ月に一度実施している看護師による健康相談は、看護師とおしゃべりをしながら病気や発達のことを気軽に相談できるため喜んでもらっている。</p> <p>利用者の声からは「先生が子どもの様子に合わせて遊んでいただけるので子どもとのふれあい方についても学べ、よかった。」「講習会では年齢に応じたトイトレやイヤイヤ期などの話が聞け、参加してよかった。」「親も来ることで子育て情報交換や相談ができて心強く助かる。」などが聞かれた。</p> <p>○今後の課題</p> <p>利用者のニーズに合わせて「仲間づくり」を意識し安全に事業をすすめていく。</p>

コメント(児童厚生施設・子育て支援事業2)

<p>地域子育て支援拠点事業ひろば型</p>	<p>(フレンドリーともぶち)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の予約制を解除。ただし、多くならないように配慮しながら利用してもらった</li> <li>・離乳食説明会、看護師による講座、ママの為のストレッチ・ベビーサイン・ベビーヨガの講習会を行う</li> <li>・今後も専門分野の講師を依頼し、講座を取り入れながら、友渕児童センターと連携し、子育て支援の充実を図っていく</li> </ul> <p>(フレンドリーせいいく)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため時間を区切り、1回の参加は4組までと決め、予約制で行った。時間と時間の間は30分間の消毒時間を設け、舐めたおもちゃは手から離れたらすぐに回収し消毒を行った。予約制で行うことで、来所日は確実に遊ぶことが出来る便利さはあるものの、予約した日に体調不良などで来所できなかった場合は次の予約は1週間以上先になってしまうということもしばしばあるようで手軽さはなくなったようだ。また、友達同士で予約をするため、初めて来所する方にとっては入りにくい雰囲気だとの声もあった。双子の方は予約をすることで双子同士で来所でき、他の方に気遣いをしなくて済むとの声もあったので、予約制はよし悪しがあるが感染拡大予防の観点からは予約制にしたことで、消毒の徹底と来所者の管理ができた。消毒に関して再確認ができたことや、来所者がいない時は成育児童センターの手助けをするなど園とつどいの広場との距離が近くなった。</li> </ul> <p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が2類から5類になることで、人数制限についての検討をしていく。利用者が不安に思わないように使用したおもちゃなどの消毒はこれまで同様徹底していく。</li> <li>・保護者がつどいの広場に求めるイベントを考える。これまで行ってきた年2回の土曜日の開所を再開し、父親の育児への参加を呼び掛ける。</li> <li>・講座は保護者の求めるものばかりでなく、保護者に知って欲しいと思う内容を考える。</li> </ul>
<p>病後児保育</p>	<p>友渕乳児保育センターのコメント欄に記載</p>

#### (4)こども発達サポートステーション それいゆ

月別利用延べ園児数(通所支援事業) 就園児療育の状況含む

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
539	496	582	483	488	502	489	543	519	473	483	528	6,125

区別契約児童数(計41名)

都島	城東	鶴見	北	その他
6	10	8	2	15

職員数(保育所訪問支援・障害児相談支援事業含む)

正規職員					非常勤職員				合計
施設長	児童発達支援管理責任者	主任保育士	保育士	計	常勤並	短時間	公認心理師	計	
1	1	1	3	6	2	5	1	8	14

令和5年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘 要	金 額
複合機	547,250
0 件	547,250

主たる修繕

空調機洗浄

保育所訪問支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用者数	1	0	0	1	2	0	1	3	4	2	4	2	20

障害児相談支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用計画書作成 モニタリング件数	29	8	6	13	9	23	7	6	12	2	6	11	132

大阪市障がい児療育等支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用者数	0	4	3	2	1	5	1	3	2	0	1	1	23

コメント(こども発達サポートステーションそれいゆ)

こども発達サポートステーションそれいゆ
<p>○取り組み・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策をしながらも、入園を祝う会を実施12組の親子に参加していただいた。5月以降に親子通園を5回実施。そのうち1回は蒸しパン作りをして、保護者にも好評を得た。家族ふれあいDAYも実施し、家族での参加で、父親や兄弟も参加し、それいゆを知ってもらう機会となった。保護者懇親会も11月に実施し、保護者間で情報の共有が出来、悩みを話し合える場にもなった。クラス会は6月と11月は資料配布やZOOM、動画配信をしたが、2月は対面で行った。動画配信は家族も何回も見る事が出来てよかったと感想をもらった。普段の単独通園の様子を知っていただき安心につながった。保護者向けの学習会を年間7回実施した。(外部から講師を招いて2回、それいゆ職員が講師になって園での取り組みや、発達検査の見方などをテーマに4回、卒転園児の保護者を5人講師として招き、卒転園後の話をさせていただくことで、この先の見通しを持つことが出来たり、進路を決めるときの参考になった回が1回。)</li> <li>保護者からの質問などは連絡ノートに質問枠を作って受けやすい状況を作った。必要に応じて電話にて個別対応を行った。日々の子どもの様子は、1~2週に1回はブログをあげるようにし、保護者への情報提供に努めた。</li> <li>・感染症対策として日々の取り組みとしては、園全体の消毒や園外での子どもの受け入れ、療育中や送迎での3密対策等を行い、職員は給食を子どもと一緒に食べないようマスクを外さず療育に努めた。職員間でコロナの感染が広まった時点で1週間休園とし、園児に感染することはなかった。狭いトイレの換気がよくなるように対策した。休園期間中は電話での療育支援を行い収入が下がることを防いだ。</li> <li>・隣接するひがみや児童センターの園児との交流は控えていたが、音楽会やキャラクターショーには一緒に参加した。</li> <li>・月3回体育指導の講師に来ていただき子どもたちにもいろいろな体の動かし方を指導していただいた。補助の仕方やいろいろな体の動かし方を職員も知ることが出来た。また、保護者向けに体育教室のねらいや家でできる遊びの紹介などもしていた。</li> <li>・クッキングなどのその場で食するような活動は控えたが、イチゴや、きゅうり、さつま芋、トマト、ブロッコリーを園庭で育て収穫する楽しみを食育の一環として取り入れた。</li> <li>・強度行動障害加算と個別サポート加算で収入をあげ、並行通園5名の契約で1日平均30人を目指した。</li> </ul> <p>○反省・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語聴覚士や作業療法士などの専門職からのアドバイスを取り入れるようにする。</li> </ul>
障がい児相談支援事業
<p>○取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度途中の相談支援員の退職に伴う変更とともに、新たにリーダー格職員が相談支援員の資格を取得した。</li> </ul> <p>○課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都島区在住の方からの利用希望が多々あり、前年度から待機をしていただいていた方1名は契約となった。現在待機の3件についても今後相談支援事業に繋げる予定。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として、令和4年度の相談支援の実施方法は、保護者の希望により電話やZOOMを利用した支援も行ったが、直接の面談が多くなった。保護者の方やお子さまの状況に合わせて、会議や区役所(子育て支援室)との連携もあり、決められた時期以外でのモニタリングの実施対応した。</li> </ul> <p>○改善点:引き続き相談支援員の増員に努めたい。</p>
保育所等訪問支援事業
<p>○取り組み・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は保護者からの申し込みが2件、すでに契約されている7件で計9件の契約となっていた。年間で20回の実施となった。それいゆを利用していた児童が多く。幼少期から継続して関わることで、評価やアドバイスがしやすい。当法人内では、保護者の契約や利用料金が発生しない大阪市障がい児等支援事業を利用した訪問を行うことが多い。</li> </ul>
大阪市障がい児療育等支援事業
<p>○取り組み・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き法人内では、保育園のしおりで事業の案内をしている。</li> <li>・法人施設を中心に保護者や保育園から申し込みを受け日程を調整して順次巡回相談の支援に取り組んだ。</li> <li>・現場の職員が児童に対する対応の困りごとや児童の特性や園生活での支援方法などのアドバイスを受けることで、児童が園生活を過ごしやすく安定することを目的としている。また保護者に対する対応等を一緒に考え、少しでも早く専門療育へと繋げる。前年度未登録16人に加え今年度11人の追加、年度末の集計では保育所卒園や事業所の利用につながって解除になった件数は8人となった。訪問療育は23件実施。</li> </ul> <p>ここ数年にわたっては、当法人内の巡回後、それいゆやデイサービスの療育支援につなぐことができています。</p>



## (5) 児童発達支援・放課後等デイサービス

### <都島児童デイサービス>

#### 月別利用延べ園児数(児童発達支援)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28	25	31	21	32	33	39	31	34	28	30	29	361

#### 月別利用延べ園児数(放課後等デイサービス)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
110	115	120	101	100	109	104	95	92	89	84	105	1,224

#### 区別契約児童数計(30名)

都島	城東	鶴見	北	その他
28	1	0	1	0

#### 職員数

正規職員				非常勤職員			合計
児童発達支援 管理責任者	保育士	その他	計	常勤並	短時間	計	
1	1		2	1	1	2	4

令和5年3月31日現在

### <児童デイサービスせいいく>

#### 月別利用延べ園児数(児童発達支援)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
37	38	53	30	40	46	54	51	49	44	48	38	528

#### 月別利用延べ園児数(放課後等デイサービス)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
80	87	101	64	55	90	90	89	75	67	67	59	924

#### 区別契約児童数計(27名)

都島	城東	鶴見	北	その他
12	7	1	3	4

#### 職員数

正規職員				非常勤職員			合計
管理者兼 児童発達支援 管理責任者	保育士	その他	計	常勤並	短時間	計	
1	1		2	1	2	3	5

令和5年3月31日現在

### 主たる修繕・整備等

各所修繕

### コメント(児童発達支援・放課後等デイサービス)

今年度の取り組みとしては、両事業所の児童発達支援では、都島児童センター、友渕児童センター、ひがみや児童センター、成育児童センター年長、年中児計17名の併行通園の療育支援を行った。同じ法人の児童の情報共有の場として、年度末にそれぞれの所属園に出向き今年度の様子を伝えた。来年度からは6月と年度末の2回情報共有の場を持ちたいと思っている。

児童デイサービスせいいくの親子通園の申し込みが、少なく、実施には至らなかった。その分併行通園の回数を増やすことで対応した。利用児童の減少と経験のある職員をそれいゆにも配置する必要があるため、4年3月に閉所した。利用児童の一部は都島児童デイサービスへ移行し受け入れている。

両事業所とも放課後等デイサービスでは、都島児童デイサービスは変わりなく学習をメインとした支援の提供に努め、児童デイサービスせいいくは、個々の特性に対応した取り組みで、それいゆのプレイルームを有効に活用し運動面にも力を入れた。

新型コロナウイルス感染拡大の時期には利用を控える方も多く利用人数が少ない月もあった。

(6) 友渕地域在宅サービスステーションひまわり

職員数(パート含)

施設長	生活相談員	看護職員	介護職員	介護支援専門員	その他	計
1	1	2	8	3	6	21

令和5年3月31日現在

◆デイサービス事業

(延件数)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
定員(人/日)	35	25	25	25
通所介護延べ利用者数	6,670	5,539	5,164	4,919
通所介護加算内容	入浴加算	5,297	4,006	3,612
	中重度者ケア体制加算	6,670	4,411	3,949
	サービス提供加算	6,670	5,539	5,164
介護予防通所介護延べ利用者数	785	666	731	437
介護予防加算内容	運動機能向上加算	0	0	0
	サービス提供加算	785	666	731

◆在宅介護支援サービス業務

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談実績	36	40	38	35
内訳	来所	6	6	5
	電話	23	28	32
	訪問	5	2	0
	その他	2	4	1

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
GHP空調設備更新工事	10,890,000
1件	10,890,000

主たる修繕

空調室外機修理  
自動ドア修理  
各所水栓修理

## コメント(デイサービス・在宅介護支援サービス)

### ○取組み結果

令和3年度から、職員配置の見直しなど経営改善に取り組んでいる。令和4年度は、前年度後半からの利用者の推移をもとに、1日の利用者20.5名(定員25名)を目標とした予算でスタートした。

地域への行事紹介や、近隣の老人福祉会館に協力していただき、高齢者の方々にお食事会の開催、公団住宅入居高齢者への入浴サービスの実施など、地域へのアプローチを進め利用者確保に努めたが、夏以降、コロナによる利用控え、また利用者の施設入所・長期入院・死亡等により、利用中止が相次ぎ(29名)、新規契約者は前年と同様(23名)であったが、結果的に、1日の利用者が17.3名と予算に比し3名の減となった。

### ○課題と今後の取組

改めて現状を見直し、利用者定員20名としスリム化した人員配置で経営を行うこととする。  
新規利用者の獲得、収入確保のため次の取組を行う。

### 柔軟な受け入れ態勢の強化

利用登録人数70名を目標とする。利用者の様々なニーズに対応出来るよう、送迎時間の柔軟な対応、入浴のみの短時間利用、積極的な体験利用の受け入れを行い、本利用に繋がるように努める。

### 活動内容の周知

製作レクリエーションや運動レクリエーションなどを充実する。利用者家族にひまわりの活動内容を良く理解していただけるよう、施設広報誌「ひまわりだより」を配布し、活動内容の周知に努める。園児との交流を生かし、利用者が作成したものを園児にも配布し、保護者にも認知してもらい、法人関係者から活動内容を広めて行く。

### 地域との関係のアプローチ

地域の人々にとって、生活圏の一部になる様な施設となるように努める。行事など、地域の方も参加、見学していただけるように対応し、地域の方とも交流を行い、信頼を構築し、地域住民の方からもご紹介等もされるように努める。地域の子供たちに放課後、スタディールームとして1F多目的ルームを開放し学習指導を行っていく。

### 高齢者施設の連携

月に1回、ひまわりの郷のサロンを利用して、利用者の気分転換を行う。「デイ、特養、訪問介護」の高齢3施設が交流を深め互いの利点を活用し利用者への便宜を図るとともに、緊急事態の際は互いに連携を取り困難の対応にあたる。

### 防災・事故への対応

災害時でも対応できるよう訓練の実施。備蓄品などの購入を行い、福祉避難所として機能できるように体制を整える。また、備蓄品等を確保する予定である。

### 増収のために

加算対象となる個別機能訓練等を積極的に取り入れ増収を目指す。

### ○在宅介護支援サービス業務

事業所内会議を月2回以上開催し、情報交換を行う。困難ケース等については意見交換をおこない適切な支援を検討して、事業所に対応困難なケースについては速やかに地域包括など専門機関に指導を仰ぎ連携を図る。また、必要に応じて「個別地域ケア会議」の開催について相談を行った。

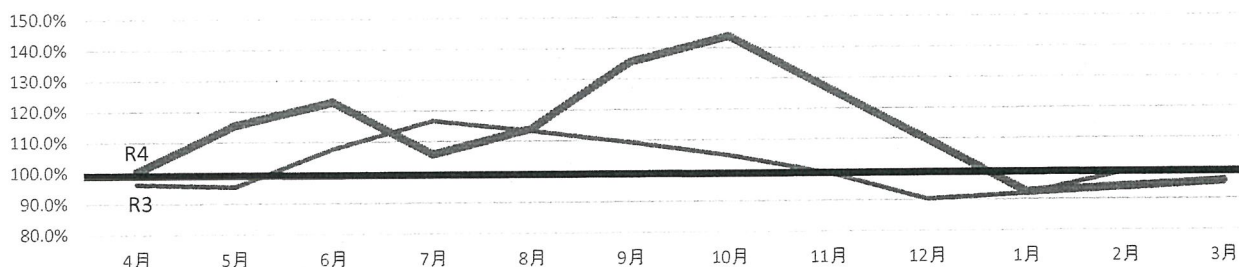
高齢者虐待を疑うケースについて発見や相談、事業所からの報告を受けた場合は速やかに必要な対応を行うよう周知した。

## (7) 特別養護老人ホーム ひまわりの郷

### ○短期入所生活介護事業（年間延利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3延利用者数	289	296	323	362	351	328	325	297	280	285	277	307	3,720
R3稼働率(%)	96.3%	95.5%	107.7%	116.8%	113.2%	109.3%	104.8%	99.0%	90.3%	91.9%	98.9%	99.0%	101.9%
R4延利用者数	271	322	332	295	318	366	401	342	306	258	237	267	3,715
R4稼働率(%)	100.4%	115.4%	123.0%	105.7%	114.0%	135.6%	143.7%	126.7%	109.7%	92.5%	94.0%	95.7%	113.1%

短期入所稼働率



令和4年度より短期入所定員10名→9名の変更を行った。稼働率を上げるため、集計会議を随時開催し、登録者確保に力を注いだ。令和3年度と比較して、利用日数は減少したが、短期11.2%上昇につながった。

また、ひまわりの郷では、感染予防の対策として、短期入所を長期利用する方に絞ってきたが感染を防ぐことはできなかった。クラスター発生時は、短期入所の受入れが出来にくく、当月及び翌月で稼働率が上がりにくい状況となった。

長期利用者を優先したため、結果として、登録数が減ったため、5類移行後の平常稼働をどのように戻すかが課題である。

### ○社会貢献事業

#### コメント（社会貢献事業）

社会貢献事業は、生活課題を抱え、制度の狭間におられる要援護者に対して、相談活動をおこない必要に応じて経済援助を行うことで、自立生活を支援するものです。財源は、府下の特養から集められたで拠出金をもとに、現物給付を行っている。関係施設との連携により、要援護者の連絡(情報)が提供される。

今回の新型コロナウイルスによる影響により、生活課題も生じてきていると思うが、社協の「生活自立相談窓口」なども充実しているせいか、相談件数が減ってきている。せつかくの制度なので、地域の課題解決の一端を担いたいものである。

## ○訪問介護ひーぐるま

### 職員数(パート含)

管理者	提供サービス責任者	介護職員	その他	計
1	2	4		6

令和5年3月31日現在

### ◆訪問介護事業

内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
定員(人)	40	40	40
契約者数(3/31時点)	38	46	48
身体介護利用回数	623	1,920	1,615
生活援助利用回数	566	2,923	2,863
自費サービス延べ利用回数	149	255	201
利用回数計	1,338	5,098	4,679

### 主たる修繕

--

### コメント(訪問介護)

#### ○利用者

- ・令和4年4月時点では登録者46名でスタートした。一年を通して利用終了(入院、入所、契約打ち切り等)もあったが、新規利用者の獲得も出来、令和5年3月末時点では登録者48名とほぼ横ばいとなった。ただ、登録者数は横ばいだが、一人当たりの利用回数が減った(新規の方が要支援など比較的軽度の方が多く、要介護度の高い利用者が少なかった)ので全体の利用回数が減った。
- ・特養での介護実績を生かし、介護量の多い方も積極的に受け入れて、看取りの方を1名受け入れた。要支援者も積極的に受け入れた。

#### ○年末年始以外の祝日の営業(サービス提供)の継続

- ・昨年度に引き続き、ケアマネージャー、利用者様及び家族様から祝日の営業を望まれる方があり、祝日も訪問を実施した。年末年始は早めに休みにすることをご利用者やケアマネージャーに伝えて12/31~1/3に休みとした。

#### ○利用者へのサービスの向上

- ・毎月1回事業所内で研修を行い、サービス向上を図った。

#### ○加算の取得

- ・基本報酬以外の介護職員処遇改善加算(I)及び介護職員等特定処遇改善加算(I)を取得した。また、訪問介護事業所ではあまり取られていない加算である特定事業所加算(II)を取得して、安定した事業運営に努めた。令和4年9月からは介護職員等ベースアップ等支援加算も取得した。

#### ○新型コロナウイルスへの対応

- ・利用者が濃厚接触者(疑いの方も含めて)となった場合でも、訪問時間の短縮や訪問内容の調整、感染症予防対策(エプロン、ゴーグル、手袋、マスク、靴カバー)を実施して訪問を継続した。
- ・職員2名が陽性者となった(7月と9月に1名ずつ)が、他の訪問介護員でカバーして訪問サービスの中止までには至らなかった。

#### ○その他

- ・訪問介護員の募集(広告サイトに掲載等)をしているものの効果がなく応募の連絡がない。1件あり就労してもらえることになったが、その方は1日で辞めてしまわれた。

### 3. 公益事業

#### (1) 居宅介護支援事業

職員数(パート含む)

施設長	管理者	介護支援 専門員	計
1	1	3	5

令和5年3月31日現在

介護予防サービス計画（ケアプラン）対応延べ件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護予防支援プラン	302	376	336	269
初回加算	10	11	14	3

介護サービス計画（ケアプラン）対応延べ件数

介護度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要介護1・2	569	580	569	547
要介護3・4・5	366	333	320	320
合計	935	913	889	867
初回加算	37	21	23	10
特定事業所加算	0	385	0	0
退院退所加算	16	10	7	1
認知症加算	—	—	—	
独居高齢者加算	—	—	—	
入院時情報連携加算	36	24	17	0
小規模多機能連携加算	0	0	0	0

コメント（居宅介護支援事業）

◇利用者本位のケアマネジメントの取組み

- ・自立支援・重度化予防に向けたケアプランを利用者及び事業所と共に考える。
- ・公正中立なケアマネジメントの確保を行う。

◇地域福祉の拠点としてニーズの掘り起こし

- ・毎月1日に行われる、「おつたち」や入浴サービス参加者との交流を通して、地域のニーズを把握する。また、地域に開かれた事業所として気軽に相談できる雰囲気をつくっていく。
- ・事業所ホームページで情報発信し、問い合わせには迅速に対応していく。

◇医療と介護の連携・強化

- ・医療機関との連携強化を図るため入院3日以内の情報提供に努める。
- ・退院・退所後の在宅生活の移行に向け、医療機関と連携促進をおこない退院時カンファレンスを積極的に参加する。
- ・都島区在宅医療・介護連携推進会議主催の研修に参加する。

## (2)比嘉正子地域貢献事業研修センター

### 職員数

正規職員(嘱託含む)	非常勤職員
相談員	
(1名兼務)	

### 子育て・障がい・介護なんでも相談室「ひまわりネット」

相談受付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	電話	8	5	9	2	13	8	12	3	1	6	3	4	74
	来所		1					2	1		1	1	3	9
	家庭訪問													0

### 研修・講座

在宅子育て支援関係	24
社会福祉関係	2
職員(保育)研修関係	8
防災関係	0

### 災害支援(11ね!物産展)

実施回数	0回
3月11日	令和2.3年度と合算で76,712円をトルコ地震義援金として大阪府を通じて寄附。

### 福祉人材登録

登録者数	0
雇用者数	0

### 固定資産取得価格一覧

摘要	金額
なし	
0 件	0

### 主たる修繕

消防設備更新
--------

### コメント(研修センター)

すべての人が健康で文化的かつ快適な生活が守られ、豊かな人間生活の実現を目的としている。目標としている「専門機関への橋渡し役となり、より敷居の低い地域の相談窓口として「心」の居場所」が定着し、区外からの相談も増加してきている。更に世代を超えた居場所を目指し、地域の開かれた社会的資源となれるよう取り組みたい。

#### ○取り組み

- ・人材育成として、大阪府民間社会福祉事業振興基金助成(アウトリーチ型研修助成事業)を受け、保健衛生・安全対策、社会福祉の理解を深める、防犯、コミュニケーションなど分野で実施。コロナ禍のため少人数かつ分散しての受講となった。
- ・主な相談内容:心の病気・生活不安・育児不安のメール、電話相談。
- ・関係機関との連携⇒都島区要保護児童個別ケース会議:複合的課題を抱える家族(世帯)への支援  
生活支援課:生活保護申請の援助、都島区虐待担当・子ども相談センター:子どもの救済  
都島区子育てネットワーク会議参加、都島区社会福祉協議会:社会貢献事業
- ・広報活動⇒ホームページ・facebook活用し、ひまわりネットの活動を発信。
- ・在宅子育て家庭「子どもと一緒にしろくまヨガ」12回(月2回)
- ・「いいね文庫」は、在宅子育て家庭の親子や地域の児童(小中学生)が利用しているが、コロナ感染症で利用減少。
- ・敷居の低い居場所づくりの一環として、安心安全な給食ランチを提供する『ひだまり食堂』を蔓延防止重点措置期間中を除き、週2回予定していたが実施できなかった。

#### ○成果

- ・精神疾患や生活困窮の相談も長期間に及ぶが、思いを聞いてもらえる場所として定着している。
- ・「ひだまり食堂」が地域で定着。コロナ感染症予防で休んでいる中でも再開の問い合わせの「声」が多くあった。

#### ○課題

- ・コロナ禍における相談業務はメール、電話で対応するが、やはり対面でないもどかしく思われていると想像できる。
- ・相談員の拡充

### (3) 保育士等キャリアアップ研修事業

#### 職員体制

正規職員	嘱託職員
0	1

#### 講師数

外部講師	内部講師
7	0

#### キャリアアップ研修受講者数（各分野 定員50名）

分野	外部		内部		計	
	受講者数	修了者数	受講者数	修了者数	受講者数	修了者数
乳児保育	15	14	10	10	25	24
幼児保育	7	5	12	9	19	14
障がい児保育	14	14	14	14	28	28
食育・アレルギー対応	15	15	8	8	23	23
保健衛生・安全対策	18	18	9	8	27	26
保護者支援・子育て支援	13	12	5	5	18	17
マネジメント	18	18	4	4	22	22
計	100	96	62	58	162	154

#### 固定資産取得価格一覧

摘要	金額
なし	
0 件	0

#### 主たる修繕

各所修繕

#### コメント（キャリアアップ研修）

##### ○取組み

近年、子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設等に求められる役割も多様化・複雑化する中、保育教諭・保育士にはより高度な専門性が求められるようになっていきます。

大阪府からの指定をうけ、各分野、充実した講師陣を迎え、より専門性の高い保育士・保育教諭等の育成、スキル向上を行うため本研修会（専門分野別研修6分野＋マネジメント研修）を以下の内容で実施しました。

- ◆募集定員…1分野あたり35名
- ◆受講料…1分野あたり15,000円（資料代・消費税込み）※複数分野の申し込み可
- ◆研修期間…令和3年6月21日～9月10日（8月8日～9月10日動画配信）
- ◆修了書について…各分野講義終了後に発行

##### ○成果

7分野合計162名が受講し、154名に修了証を発行。

##### ○課題

受講申込後のキャンセル対応

##### ○反省・改善点

コロナ感染症拡大に伴う研修形態



#### 4. 収益事業

##### (1) 賃貸アパート(あやなす荘)

あやなす荘は令和5年2月に解体撤去工事完了

##### (2) 賃貸ビル(福祉ビル)

ビル1階部分をテナントとして遠藤クリニックに賃貸している

#### 固定資産取得価格一覧

摘要	金額
なし	
0 件	0

#### 主たる修繕

各所修繕

#### コメント (収益事業)

あやなす荘は令和5年2月に解体工事完了。  
内容については前述の本部事業報告のとおり。

福祉ビルは、テナントとして活用し、遠藤クリニックへ賃貸した。

## 5. 研修報告

### 《人権研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児童・高年齢	大阪福祉部地域福祉推進室福祉人材・法人指導課人材確保グループ	6/17	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	1
	大阪府商工労働局雇用推進室労働環境化	8/8～8/9	公正採用選考人権啓発推進員 新任・基礎研修	1
	大阪府地域福祉財団	10/11	高齢者の権利擁護と成年後見	1
	那覇市子育て応援課	7/7	体罰禁止とその対応について	10
	株式会社テノ・サポート	12/14	人権に配慮した保育	9
	一般社団法人大阪私立保育連盟	6/30	人権研修 性の多様性を知り、自尊感情を育てる	1
	都島区北部包括支援センター	11/17	高齢者虐待と意思決定支援	1
法人内	施設長会議		法人及び各施設に関する人権について	適時
	職員会議		施設に関する人権について	適時
	役員会議		法人に関する人権について	適時

### 《役員研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
役員	全国社会福祉法人経営者協議会	11/28、11/29	監事専門講座	1

### 《外部研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数		
児童	大阪市立保育連盟研修部	6/22	主任の役割と心のケア	1		
	大阪知的障がい者福祉協会	3/2	福祉専門職員としての正しい記録の書き方	2		
	インリアル協会	12/10	乳幼児期のコミュニケーションを支える認知発達	1		
	大阪旭こども病院医療保育室アリス病児保育	6/4	心に寄り添う保護者対応～ちよつと気になる子と保護者～	2		
	大阪こども相談センター	11/22	子育て支援ネットワーク会議・子育て交流会	2		
	大阪市社会福祉研修・情報センター	10/18	ハラスメントへの対応について	1		
	大阪市こども青少年局	8/25	みんなで取り組む事故予防	8		
	大阪市こども青年局保育施設部	2/15	看護師交流会	1		
	大阪市社会福祉協議会	12/14、12/16	DVと児童虐待の関係について	7		
	大阪市社会福祉研修情報センター	8/22	愛着障がいの理解と支援	0		
	大阪市私立保育連盟研修部		5/31	感性を育むあそび(表現)～砂遊びを通して～	1	
			7/8	乳児保育におけるアタッチメント	1	
			9/12	乳児の声と聞こえの育ちから見えてくるもの	1	
			12/5	乳児の運動遊び	1	
	大阪市発達障害支援センターエルム大阪	10/13	ASD(自閉症スペクトラム症)講座	1		
	大阪市発達障がい者支援センター	3/3	ペアレントトレーニング・実践報告会	2		
	大阪市保育連合会	2/25	大阪市保育研究発表会	2		
	大阪青年経営者会		4/21	令和4年度事業・総会について 社会福祉連携推進法人について	1	
			6/10	講演「変革に時代を生き抜く社会福祉法人を願って」	1	
			7/15	法人内の労務問題について他	1	
			10/25	社会福祉法人三活会の事例発表他	1	
			1/27	フランスベッドからの寝具リース提案について他	1	
	近畿社会福祉法人青年会	2/10	実効性の高いBCP策定を目指して	1		
	大阪府知的障害者福祉協会	9/8	障がい者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて各施設での地域支援の取り組みやR6年に向けての取り組みなど	1		
	大阪府社会福祉協議会	11/8	感染症予防対策講演会	1		
	児童		5/17	保育者の専門性の探究	1	
		大阪府社会福祉協議会保育部会		6/17	地域貢献支援員スマイルサポーター養成研修 ◎多様な福祉種別による総合的支援の在り方 ◎『大阪しあわせネットワーク』を例に ◎『大阪しあわせネットワーク』って何？ ◎スマイルサポーター実践報告	1
				7/11	地域貢献支援員スマイルサポーター養成研修 ◎ソーシャルワークの視点による総合相談の基本的技術	1
				7/20	地域貢献支援員スマイルサポーター養成研修 ◎早期発見とポイントの介入、支援計画の作成、連携の判断 ◎相談記録の作成と評価・改善	1
				8/8	令和4年度 地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修①	1
			9/5	令和4年度 地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修②	1	
			9/15	令和4年度 地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修③	1	
			9/29	令和4年度 地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修④	1	
大阪私保連研究部		11/1	保健衛生における危機管理	1		
教育関係者向け暑さ対策セミナー		6/20	暑さ対策セミナー	3		

児	四条暁学園短期大学	2/19	心で感じる音の世界／絵本と笑顔のむこうがわ	5
	全国社会福祉法人経営者協議会	8/26	社会福祉法人主任/係長講座 オンライン研修	1
	城東区役所保健福祉課長	1/30	食育ネットワーク会議	1
	全国社会福祉法人経営青年会	8/22	全職員にヒアリングするプロから学ぶ！職員の声から始める組織づくり	3
		8/23	福祉施設で働く職員のためのセルフリーダーシップ	1
	全日本音楽教育連盟 西日本幼児音楽研究会	6/4	幼児音楽教育夏季講座	2
		6/4,6/5	幼児マーチング&CD鼓隊講習会	3
	西日本幼児音楽研究会	8/4	幼児音楽教育夏季講座	5
		6/4,6/5	幼児音楽教育 マーチング講習	2
	日本保育協会大阪支部	5/25	幼児期における防災教育	1
		11/15	令和4年度 健康と安全研修 乳幼児の一次救命処置 講習と実技	2
		11/18	「保育リスクマネジメント」保育重大事故と危機管理	3
	日本保育保健協議会	5/31	安心・安全に食べるための口腔機能の発達	5
		8/24	犯罪から園を守る、子どもを守る	4
11/4		ヒヤリハットを分析し「変えられる」を見つけよう！	14	
7/15		保育現場の一次救命処置	6	
都島区社会福祉協議会	12/15	BCP(事業継続計画)研修(1)	1	
	1/16	BCP(事業継続計画)研修(2)	1	
都島防犯協会都島警察署	10/14	都島区安全、安心まちづくり大会	1	
リタリコ発達ナビ	3/9	お子様の行動分析セミナー「根拠をもって支援を決定する手順とは？」	1	
全国社会福祉法人青年会	8/22	組織・人材マネジメント委員会セミナー	1	
高	「やさしい日本語」有志の会	2/28	やさしい日本語セミナー	1
	大阪市高齢者福祉施設連盟	4/12	認知症の理解、本人主体のケア、認知症ケア、セッショングループワーク	1
		6/16	認知症の今・生きる人の心の声、コミュニケーション、ユマニチュード5つのステップ	1
	大阪市老人福祉施設連盟	4/28	サービスマナー研修会	2
		6/15	『BCP(事業継続計画)について』～未来を考える！私たちのこれからの実践～	4
		7/1	看取りケア研修会研修会～コロナ禍における看取りと家族の支援(ケア)～最後まで幸せを守りたい！	1
		7/5	介護現場の理念と再構築の具体化	1
		7/28	認知症を抱えた方への排泄ケア研修会～認知症の理解と排泄トラブルの原因を探る～	1
		9/20	ICFによる生活機能の分析と施設ケアプラン作成	1
		11/22	ICFによる生活機能の分析と施設ケアプラン作成	1
		2/3	ICFからの発表「望む暮らしの実現」	1
	大阪介護支援専門員協会	2/27	認知症・精神疾患研修会	1
		5/13	精神障がい者の理解促進を通じて、65歳問題を考える	1
		5/24	ICTの活用によるケアマネ業務の見直しの促進に向けて	1
		2/19	「みんなの人生会議」～アドバンスケアプランニング学ぼう	1
	大阪市福祉局高齢者施策部高齢福祉課	4/22	転倒と運動の〇〇なお話	1
		6/24	自立支援型ケアマネジメント検討会議を考える	1
		8/26	腰痛を考える	1
		10/28	自立支援に関するリハビリテーションの評価	1
		12/22	高齢者の自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの考え方	1
		2/24	目標設定の考え方	1
	大阪府社会福祉協議会	7/1	地域福祉コーディネータースキルアップ研修	1
		7/14	地域福祉コーディネータースキルアップ研修	1
		7/26	地域福祉コーディネータースキルアップ研修	1
		8/9	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	1
		8/23	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	1
	大阪福祉人材支援センター	6/17	面接相談におけるコミュニケーションの基本	1
大阪府福祉部地域福祉推進室	5/19	大阪府介護分野への就労・定着支援事業説明会	1	
外国人材拡大プレイス	12/12	2022年12月外国人介護人材セミナー「人づくり」	1	
株式会社エス・エム・エス	3/30	特定事業所加算勉強会 (ズームでのオンライン)	1	
公益財団法人 大阪YMCA	4/15	「事業者の管理者として法令を理解する」～自主点検表を活用して、事業所を運営・管理していくために必要な視点を学ぶ～	1	
公益財団法人 田附興風会	9/9	エンドオブライフケア研修会、終末期ケアの概念を理解する	1	
	1/11	エンドオブライフケア研修会	1	
地域包括支援センターレーベンスポルト	5/28	難病について(パーキンソン病/ALS)	1	
福祉と人権の研修ネットワークおおさか	1/20	虐待の現状と事例から考える支援のあり方	1	
都島区北部包括支援センター	11/11	困難事例から学ぼう	1	
齢				

《法人内研修》

	担当(部会)	研修日	研修内容	参加人数
児 童	都島児童センター	4/2	職員ハンドブック研修	41
		5/12	防犯研修・不審者侵入の対処方法	42
		6/13,14	動画視聴「3.11そのとき保育園は いのちをまもる いのちをつなぐ」	42
		10/17	音楽研修	13
		10/25	体の描き方の研修	8
		10/27	絵画研修	8
		1/13,20	けいれん・AED研修	41
	友渕児童センター	4/2	職員ハンドブック研修	全職員
		5/19	防犯研修	全職員
		5/31	みまもり冊子読み合わせ(水遊び・プール事故について)	全職員
		6/13,14	動画視聴「3.11そのとき保育園は いのちをまもる いのちをつなぐ」	全職員
	桜宮児童センター	4/4	体育研修	13
		5/19	防犯研修	全職員
		6/17	事故予防	全職員
		11/8	嘔吐時の対応と服の返却方法について	全職員
		1/24	熱性けいれんについて	全職員
	成育児童センター	6/14	みんなで取り組む事故予防	10
		6/13,14	動画視聴「3.11そのとき保育園は いのちをまもる いのちをつなぐ」	17
	ひがみや児童センター	4/2	職員ハンドブック研修	22
		5/14	体育指導法・補助の付き方	22
		11/11	AED研修	22
	都島乳児保育センター	1/25	防犯研修	全職員
	都島第二乳児保育センター	4/2	職員ハンドブック研修	14
		5/19,23,27	アレルギー・嘔吐処理についてのグループ討論	24
		5/31	みまもり冊子読み合わせ(水遊び・プール事故について)	20
		6/2	離乳食について	16
		6/13,14	動画視聴「3.11そのとき保育園は いのちをまもる いのちをつなぐ」	17
11/26		嘔吐処理について	11	
友渕乳児保育センター	4/2	職員ハンドブック研修	12	
	12/13	インフルエンザ・ノロウイルス・けいれんについて	3	
こども発達サポートステーションそれいゆ	4/12	視覚支援について	8	
	4/20	障がい者虐待の理解と防止	8	
	7/8	基礎からの構造化	7	
	12/26	発達検査から見えてくるもの	7	
高 齢	特養ひまわりの郷	採用時	身体拘束研修・高齢者虐待防止研修	7
		4/28	第1回内部研修(防災/リスクマネジメント/感染症対策)	23
		6/24	第2回内部研修(褥瘡/介護技術/看取り介護/腰痛予防)	20
		8/26	第3回内部研修(身体拘束廃止、プライバシー保護、介護技術、高齢者虐待)	21
		10/28	第4回内部研修(リスクマネジメント、BCP、感染症対策)	20
		12/16	第5回内部研修(認知症、腰痛予防、身体拘束廃止、介護技術、高齢者虐待)	18
		3/24	第6回内部研修(年度総括、地域ケア、ハラスメント対策)	26
	訪問介護ひーぐるま	4/14	倫理・法令遵守、褥瘡について	6
		5/12	接遇、ストレスケア	6
		6/16	熱中症&食中毒を防ぐ、介助術(ベッド上での介助)	6
		8/18	クレーム・苦情対応、介助術(腰痛から自分を守る)	6
		10/20	認知症、訪問サービスのグレーゾーンについて	6
		11/17	緊急時対応、感染症予防	6
		12/23	高齢者虐待、高齢者の冬の健康管理	6
1/19	プライバシー保護、事故再発防止	6		
2/16	ハラスメント対策、高齢者の薬	6		
3/16	介助術(腰痛対策、福祉用具)	6		

＜＜沖繩＞＞

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
内 部 研 修	渡保育園	7/5	食物アレルギー対応	1
		5/21	個人情報について	10
		11/19	法人の成り立ち	9
	松島保育園	5/7	新型コロナウイルスについて・アレルギーについて	8
		7/16	保育について(虐待・コロナ感染症について)	10
		9/15	コロナ感染症について	6
		11/20	保育について「アレルギーについて」	13
		3/30	保育について「新年度に向けて」	13
外 部 研 修	公益財団法人総合健康推進財団	2/15	食育・アレルギー対応キャリアアップ研修	1
	特定非営利活動法人美ら保育総合サービス	10/1	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	1
		12/1	キャリアアップ研修(幼児教育)	2
		12/1	キャリアアップ研修(乳児保育)	1
	那覇市こども教育保育課	6/2	乳児保育の保健・衛生研修「乳児の健康観察・病気について」	6
		6/8	乳児保育の保健・衛生研修	10
		6/21	「虐待防止研修」	4
		7/3	那覇市保育研究大会「食の環境について」	2
		8/25	指導計画(3歳児以上)研修」	2
		8/27	深刻事故予防	10
		10/12	那覇市教育保育施設等研修会「応急処置研修」	1
		1/13	小児アレルギーについて	1
		2/27	3歳児以上の指導計画の作成	3
		2/27	3歳児未満の指導計画の作成	4
		那覇市こども発達支援センター	7/26	発達保育研修会
	那覇市保健所・健康増進課	2/12	給食施設従事者研修会	3

＜＜アウトリーチ型研修＞＞

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児 童	比嘉正子地域貢献事業研修センター	4/4～7/4	ケガの対応、誤飲時の対応、SIDSについて、熱性けいれんについて	311
			感染症対策について、子供をみるポイントについて	
			アレルギーについて、エピペンの使用方法	
	比嘉正子地域貢献事業研修センター	7/11,7/21	描くことが楽しいと感じられる指導法	32
		8/10	気になる子どもへのかかわり方と保護者対応	24
		8/26	多様な保育士が気持ちよく働ける環境づくり	27
		9/30	人材育成におけるリーダーとしての関わり方	22
		10/18	どう選び、どう読むか？絵本の間、空気を楽しむ	28
	10/20	ケースによる子どもへの対応	21	

～令和4年度 都島友の会 保育士等キャリアアップ研修 プログラム表～

講義内容		日程			講師
乳児保育	乳児保育の意義	6月29日	水	13:30~16:45	大阪総合保育大学 学長 大方 美香 氏
	乳児保育の環境	7月9日	土	10:00~13:15 14:00~17:15	
	乳児への適切な関わり				
	乳児の発達に応じた保育内容	7月16日			
	乳児保育の指導計画、記録及び評価				
幼児教育	幼児教育の意義	7月23日	土	10:00~13:15 14:00~17:15	四天王寺大学 准教授 田辺 昌吾 氏
	幼児教育の環境				
	幼児の発達に応じた保育内容 幼児教育の指導計画、記録及び評価	8月23日	火	13:00~17:45	
	幼児教育の指導計画、記録及び評価 小学校との接続	9月6日			
障がい児保育	障がい児保育の理解	7月1日	金	14:00~17:15	岐阜聖徳学園大学 専任講師 永井 祐也 氏
	障がい児の発達の援助	7月2日	土	10:00~13:15 14:00~17:15	
	障がい児保育の環境				
	障がい児保育の指導計画、記録及び評価	7月3日	日		
	家庭及び関係機関との連携				
アレルギー対応	栄養に関する基礎知識	7月27日	水	14:00~17:15	大阪総合保育大学 講師 阿川 勇太 氏
	アレルギー疾患の理解	8月8日~8月20日	日	動画配信	
	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン				
	保育所における食事の提供ガイドライン	9月1日~9月10日	土		
	食育計画の作成と活用				
安全衛生対策	保育所における感染症対策ガイドライン	6月22日	水	13:00~18:15	大阪総合保育大学 講師 阿川 勇太 氏
	*保健計画の作成と活用 *保育の場において血液を介して感染 する病気を防止するためのガイドライン	7月6日			
	*教育・保育施設等における事故防止及び 事故発生時の対応のためのガイドライン *事故防止及び健康安全管理	7月13日			
子育て支援	保護者支援・子育て支援の意義	6月21日	火	14:00~17:15	武庫川女子大学 教授 倉石 哲也 氏
	保護者に対する相談援助	7月17日	日	10:00~13:15 14:00~17:15	
	地域における子育て支援				
	虐待予防	7月18日	祝	10:00~13:15 14:00~17:15	
	関係機関との連携、地域支援の活用				
マネジメント	マネジメントの理解 リーダーシップ・職員への助言	7月8日	金	13:00~18:15	関西科学福祉大学 准教授 小口 将典 氏
	他職種との協働・組織の課題の抽出 及び解決策の検討/組織目標の設定	8月19日			
	人材育成	9月2日			
	働きやすい環境づくり				

★研修会場（全日程）…社会福祉法人都島友の会 比嘉正子地域貢献事業研修センター3階

（〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-16-8 TEL:06-6925-1304）